

大正期の『中央公論』『婦人公論』に見られる 普通名詞の外来語

中 里 理 子

A Study on Loanwords in Chuou-Koron and Fujin-Koron Published in Taisho Period : Focus on the Common Noun

Michiko NAKAZATO

要 旨

大正期の『中央公論』と『婦人公論』に用いられた普通名詞の外来語を比較したところ、記事の違いにも関わらず、共通して用いられる外来語は非常に少なく、語彙が異なることが明らかになった。『中央公論』は政治、経済、国際社会、哲学・思想、宗教に関する語が多い。軍事関係や医学・生物学に関しては専門的で難解な外来語の多くを原語表記している。『婦人公論』は経済に関する語が非常に少なく宗教関係の語はキリスト教に偏るなど外来語の範囲は広くないが、思想を表す語や抽象語も見られ、新しい概念を積極的に取り入れる姿勢が窺える。生活に関わる家具や日用品、身近な素材や建築物などは『中央公論』より多い。また、服飾関係、流行・風俗、女性運動や女性の職業、女性の社会的立場を表す語は『婦人公論』に多い。語の長さは、『中央公論』に2単語以上の語が多い。和語・漢語との併記については両雑誌ともに見られ、大正後期に向かうにつれて減少の傾向にある。形容動詞・副詞・動詞については、両雑誌ともに辞書に掲載されていない語が多く見られ、『婦人公論』においても新しい外来語を積極的に用いている様子が窺える。

1 本稿の目的と研究方法

本稿は、大正期に刊行された『中央公論』と『婦人公論』の「公論」記事を対象に、両雑誌に用いられた外来語を比較し、それぞれの特徴を明らかにすることを目的とする。『中央公論』が男性向け雑誌、『婦人公論』が女性向け雑誌であることを踏まえ、ジェンダーギャップの観点から両雑誌の比較を行う。

『中央公論』は大正1年から16年までの各年1月号、『婦人公論』は創刊された大正5年から16年までの各年1月号を調査対象とした。外来語は、普通名詞（単位を表す名詞を除く）と、形容詞・形容動詞・動詞として用いられた語を取り上げる¹。

(2)婦人公論

年	a	b	c	d	e	f	g	h	i	計
5	-	-	-	1	-	1	5	1	-	8
6	-	-	1	-	-	-	2	3	-	6
7	-	-	-	-	-	1	22	-	-	23
8	11	-	-	1	-	-	5	-	-	17
9	-	-	-	-	19	-	-	-	-	19
10	5	-	-	-	2	-	1	1	-	9
11	-	-	-	-	-	-	10	10	-	20
12	-	-	-	-	-	-	8	-	-	8
13	-	-	-	1	1	-	24	4	3	33
14	2	-	-	1	-	-	9	-	-	12
15	1	-	1	-	2	1	5	7	1	18
16	5	-	-	-	6	1	29	7	24	72

雑誌の号（発行年）によって記事の総数に違いが見られるが、『中央公論』は長い記事が多く、『婦人公論』は短信のような短い記事が多い号があること、年によって公論記事のページ数が異なることによる⁹。記事数やページ数に違いがあることから、数量だけで外来語の特徴を論じることはできないと言える。次項で外来語について考察する際に、記事数、ページ数に偏りがあることを念頭に置く必要がある。

『中央公論』は、a「政治、国際社会、教育」、b「経済」、d「医学、健康」、e「文化、思想」、g「人生」など、幅広い分野の記事が見られる。c「科学」の記事はないが、大正4年の「思想藝術の現在」という記事では外国の文化とともに科学についても触れており、また、dに科学的内容が含まれることから、科学的分野の記事もあると考えてよいだろう。ただし、f「服飾・ファッション」に関する記事と、h「婦人運動」に関する記事は一つも見られなかった。『中央公論』は政治や社会問題を扱う際に、諸外国の歴史や国情に言及するものが多く、必然的に外国の地名、人名などの固有名詞が多い。普通名詞においては、政治や社会に関する外来語が多いと推測される。

『婦人公論』は、a「政治・社会」は少ないが、h「婦人運動」に関する記事が多く見られた。8年に政治・社会に関する記事が多いのは、「物價騰貴の今日に際して◇◇◇主婦の感想◇◇◇」と題して11名が政治に関する記事を寄稿しているためである。c「科学」、d「医学、心理学」には、例えば「科学と女性」（15年）、「『嫉妬』の心理學的研究」（5年）、「現代婦人の出産難」（8年）のように、身近な問題を科学的に解説した記事がある。f「服飾・ファッション」に関する記事はほとんど見られず、「誰に見せんとはするぞ」（7年）のような現代女性の風俗を論じるものとなっている。『中央公論』に比べてg「人生、生活」が多いのは、「結婚を困難ならしむる原因」（8年）、「道徳的生活の難境に立てる現代婦人」（11年）のように、女性の生き方や道徳観に関する記事が多いためである。また、「家庭保存の論據一大抵の社會主義的家族觀に反對して一」（14年）のような硬い文章から「健康祝賀日」（13年）のような柔らかい文章まで記事の範囲が幅広い。青木美智子（1965）の解説にあるように、「発刊当初は啓蒙誌という感が強く、大正後期まではその傾向が見られる。16年にi「その他」が多いのは、短信的な記事が多いためである。『婦人公論』には国際社会や政治、経済を扱った記事は少ないため、その分野の専門的な外来語も少なく、女性の生き方、生活のあり方を扱う記事が多いため、一般的な外来語が多くなると予想される。

2. 2 普通名詞（形容動詞・副詞・動詞含む）の分類と記述方法

両雑誌から抽出した普通名詞の外来語（単位を表す名詞を除く）および形容動詞・副詞・動詞¹⁰を年ごとに整理し、稿末資料1「『中央公論』に見る普通名詞の外来語」・稿末資料2「『婦人公論』に見る普通名詞の外来語」にまとめた。石井久美子（2014）に、『中央公論』の特徴として「社会情勢を表す思想や、

最新の研究の中に登場する専門用語」等が多いこと、『婦人公論』の特徴として「流行の事物や生活に密着した語が多い」ことが指摘されているが、〈社会情勢〉〈専門性〉〈生活〉という特徴をより明確にするために、以下のように分類した¹¹。

【分類項目】

A = 社会的・専門的な語

- ①政治・社会活動 ②経済・商業活動 ③科学（鉱物名等を含む） ④医学・生物学（病名、動植物名等を含む）¹² ⑤哲学・思想（①・②以外）・宗教 ⑥軍事・その他

B = A 以外の一般的な語

- (1)服飾関係（布地等を含む） (2)飲食関係 (3)家庭用品、生活に関わる事物 (4)芸術（音楽・文学・美術等）・スポーツ (5)抽象的なもの・概念 (6)その他

【記述方法】

- ・ルビ（傍訓）は語の後に{|}で示す。英字表記のものはそのまま記述した。表記の例が複数ある場合は「/」で並列した。
- ・複数例見られる場合には語数を数字で示した。数字のないものは用例数1である。
- ・活用語の語尾は、動詞は「する」、形容動詞は「な」「に」「で」（語尾のない例は「φ」）で示した。複数見られた場合は、語尾を「・」で並列した。
- ・記述順は、本文またはルビにカタカナ・ひらがな表記がある語（五十音順）、日本語と対応させた外国語表記（アルファベット順）、外国語表記のみ（アルファベット順）、漢字表記（五十音順）の順とした。（ ）は本文中の括弧である。読み取り不明箇所は■で示す。

2. 3 外来語（普通名詞等）の特徴

稿末資料1『中央公論』・稿末資料2『婦人公論』の外来語（普通名詞）の年ごとの異なり語数と延べ語数を以下の表2に示す。

表2. 外来語（普通名詞等）の異なり語数と延べ語数

(1)中央公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	69	91	177	134	31	61	43	105	79	61	121	184	241	45	71	86
延	92	116	313	242	56	88	47	243	392	91	171	375	527	75	92	173

(2)婦人公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	—	—	—	—	41	21	22	32	36	29	49	65	60	58	168	152
延	—	—	—	—	45	205	39	39	60	81	86	97	98	100	248	325

異なり語数と延べ語数で差が大きいのは、たとえば一つの記事の中で「ストーヴ」が89回使用（『婦人公論』大正6年）されたり、「ブルジョア」が87回使用（『中央公論』大正9年）されたりすることがあるためである。大正5年以降の12年間の異なり語数を比較すると、ほぼ同じ数が見られる年は5年・14年、『婦人公論』が2倍程度多いのは15年・16年、『中央公論』のほうが2～3倍多いのは6～13年の8年分である。

これらを分野ごとに整理したのが表3である。延べ語数は記事の偏りも影響するため、異なり語数を示す。

表3. 分類ごとの異なり語数

(1)中央公論

年	A						B					
	①	②	③	④	⑤	⑥	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
1	4	2	-	5	7	2	9	6	16	7	10	1
2	7	1	-	1	19	4	3	4	8	6	36	2
3	5	-	1	8	70	1	-	3	12	10	66	1
4	7	4	17	-	29	2	-	1	8	6	60	-
5	6	2	1	2	12	-	-	1	1	1	5	-
6	6	1	-	11	14	13	-	1	4	2	8	1
7	13	3	-	2	10	-	1	2	2	-	10	-
8	28	5	-	1	26	4	-	1	6	1	32	1
9	27	7	-	1	5	4	-	1	12	-	22	-
10	13	2	-	16	3	9	-	2	2	1	12	1
11	18	2	-	12	13	-	4	4	10	14	42	2
12	11	6	2	84	24	1	1	2	9	3	41	-
13	18	4	-	2	30	3	6	7	54	10	103	4
14	4	1	-	6	8	1	1	6	6	-	10	2
15	25	6	-	2	16	-	-	1	5	2	14	-
16	20	12	-	3	8	-	1	4	11	-	26	1

(2)婦人公論

年	A						B					
	①	②	③	④	⑤	⑥	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
5	-	-	-	8	4	-	5	2	2	-	20	-
6	-	-	2	1	2	-	-	2	6	2	4	2
7	-	-	-	-	1	-	9	1	5	3	3	-
8	2	-	-	4	4	-	2	1	10	3	5	1
9	-	-	-	1	18	-	-	-	4	4	8	1
10	8	1	-	-	6	3	1	1	2	-	6	1
11	1	1	-	3	8	-	-	1	2	-	31	2
12	6	1	1	6	9	-	3	2	11	4	21	1
13	8	-	-	3	5	-	3	2	13	1	23	2
14	5	-	2	-	3	-	5	2	14	11	14	2
15	2	-	-	3	16	1	26	9	47	11	46	7
16	6	-	-	2	5	-	21	7	50	14	44	3

2. 3. 1 分野の比較

より専門的な語である分類 A を見ると、『中央公論』は特に①政治・社会活動と②経済・商業活動が多く、『婦人公論』よりも政治や経済に関する外来語の使用が多い。「パブリック、サーヴァント」(2年)、「海洋獨占主義{ネバリズム}」(8年)、「エンコミエンダス制度」(12年)など、国際政治に関する語や専門性の高い外来語が散見される。多用された語を見ると、大正1年から16年の16年間で、13~15年を除きいずれの年にも(計13か年)見られるのが「サンヂカリズム/サンディカリズム」¹³である。「デモクラ

シー」は、4年に登場してから16年まで、14年を除く各年（計12か年）に見られる。「プロレタリア」は8年から16年まで、9・14年を除く計7か年に、「ブルジョア・ブルジョアジー」は、9年から16年まで14年を除く計7か年に見られた。経済に関わるものとしては、「ストライキ」が2・4・5・7・8・9・11・14・16年の計9か年に、「ギルド」が8～12年・16年の計6か年に見られる。これらの語は、『婦人公論』では「サンヂカリズム」「ギルド」が10年のみ、「ストライキ」が11年のみに見られた。「サンヂカリズム」を経済体制の一種と捉えると、「ストライキ」「ギルド」等とともに経済関係の外来語は『中央公論』に多く、『婦人公論』に少ないことがわかる。他の語について『婦人公論』を見ると、「デモクラシー」が8・12・14・16年の計4か年、「プロレタリア／プロレタリア」が12・13・14・16年の計4か年、「ブルジョア」は10～16年まで各年（計7か年）¹⁴に見られる。また、「デマゴグ」（10年）、「マキヤヴェリズム」（16年）などの語も見られ、語数は少ないものの、『婦人公論』においても社会問題に対する意識は高く、外来語も積極的に使用していると言える。特に「サフラヂェット／サフラゼット」（＝闘争的女性参政権活動家のこと）（10年）は『婦人公論』にのみ見られ、女性に関する問題を取り上げていることがわかる。

A③「科学（鉱物名等を含む）」は両雑誌とも少ないが、『中央公論』では「トリウム」（4年）、「ラヂウム」（5年）のような専門的な語が見られるのに対し、『婦人公論』では「コークス」（6年）、「タングステン」（14年）のような日常の器具に関わる語が見られる。

A④「医学・生物学」は両雑誌に見られるが、『中央公論』では、稿末資料1の6年、10年、11年、12年に見るように、動物名、病名等が詳細に原語表記とともに列挙されており、非常に詳細で専門性が高い¹⁵。『婦人公論』では、5年に専門的な用語（すべて男性筆者による一つの記事中）が見られるが、それ以外は、多くが「コロロホーム」（8年）、「マンモス」（12年）、「ヴィタミン」（12・15年）など、より日常的な外来語となっている。また、『婦人公論』には「ヒステリー」が6・11・12・15・16年に見られる¹⁶が、『中央公論』は「ヒステリーの」（8年）が1例だけ見られた。

A⑤「哲学・思想・宗教」は両雑誌ともに多くの外来語が見られる。『中央公論』では、思想に関する語に「歸納的{インダクティブ}」（1年）、「實際的{プラクチカル}」（2年）・「プラクチカル」（13年）、「行為主義{プラグマチズム}／實用主義{プラグマティズム}」（3年）・「プラグマチズム」（9年）、「デアレクチック」（13年）、「アイドリズム」（14年）、「クルーチェヌイフ{未来派}」（15年）など、哲学・思想を語る際に用いる専門的な語が散見され、『婦人公論』より圧倒的に数が多い。『中央公論』の宗教関係の語は、「carita（隣人の愛）」（11年）、「信仰{Credo}」（15年）など専門的な語が見られるほか、「塞耳比亞正教」（4年）、「ピューリタン」（3・5年）・「ピューリタン」（13年）、「カソリック」（7年）、「プロテスタント」（7年）などの教派や、「祭祀{アポシオシス}」（1年）、「ユダヤ教」（6年）、「マホメット教」（6年）・「モホメット教徒」（12年）、「ヒンドウ教徒」（13年）など、様々な宗教に関する外来語が見られる。A⑤について『婦人公論』を見ると、宗教関係では「晩課{ヴェスパー}」（9年）、「聖痕{スチグマ}」（12年）、「サンタ・フエエ（聖き信仰の意）」（15年）などキリスト教に関する専門的な語が見られるが、これらは『中央公論』には出現しない語である。また、「加特教{カトリック}」（8年）・「カトリック教徒」（9年）・「カソリック教派」（15年）・「キヤソリック」（10年）以外の教派は見られず、他の宗教に関しては「マニ教」（9年）、「モホメット教」（15年）が1例ずつ見られるだけである。『婦人公論』で扱われる宗教の話題は、ほとんどがキリスト教カトリックに関するものであったようである。思想に関しては、『婦人公論』『中央公論』どちらにも見られたのは、「エゴー」「エゴイズム」「エピキュリアン」「クルツール」¹⁷「ジャーナリズム／ヂヤアナリズム」「デカダン」「マキヤベリズム」の7語のみで、それ以外は重複していない。『婦人公論』は数がかかなり少ないものの、「新マルサス主義」（11年）、「女性主義{フエミ

ニズム}」(11年)、「べき{ゾルレン}」(12年)、「ダダイズム」(15年)など、思想を表す語を用いようとした意欲が窺われる。特に「フェミニズム」は『中央公論』では見られなかった語であり、女性読者に向けた『婦人公論』の特徴が現れている。

A⑥は、「ドレットノート」「ピストル」は両雑誌に見られたが、「国民防禦軍{ナショナル、ガルド}」(3年)、「Russische Horden (ロシアの群兵)」(8年)、「歸還兵宅地 Krieger houstatte」(10年)など、軍事関係の専門的な語が『中央公論』に見られた。

次に、より一般的な語であるBを見ると、『中央公論』は(1)「服飾関係」が非常に少ない。『婦人公論』は外来語の全体数が少ないが、その中でB(1)が多いのが特徴的であり、「コート」(5年)、「シヨール」(5・8年)・「シヨオル」(12年)、「マント」(5・7・13・16年)など様々な洋装が見られる。『中央公論』では「シルクハット」(1・11年)、「ズボン」(1・16年)、「ステツキ」(1年)、「フロックコート」(8年)・「フロック」(11年)、「ネクタイ」(14年)など男性用のものを中心だが、『婦人公論』では「シルクハット」(8・12年)、「ずぼん」(16年)、「ステツキ」(15年)、「フロック」(15年)が同様に見られるほか、「スカウト/スカート」(15年)、「靴下止{ガーター}/ガーター」(16年)、「ストツキング」(16年)等の女性用のものや、「ルパシカ」(14年)等、幅広く服飾語が見られ、「セル」(5・7年)、「カナキン」(15年)、「フラシテン」(16年)など布地を表す語も多く見られる。

B(2)「飲食関係」に関する外来語は両雑誌ともほぼすべての年に見られる。両雑誌に見られたのは「カレー」(『中央公論』では「カレー粉」、『婦人公論』では「ライスカレー)、「コーヒー/珈琲」「シガレット」「チョコレート」(『婦人公論』は「チョコレートクリーム)、「煙草/タバコ」、「バタ」、「バナナ」、「パン」、「ビール」である。これらの語が一般的に用いられていたことがわかる。『中央公論』には「シガー」「火酒{ツッカ}」など男性に嗜好が見られるほか、「ジヤム」「ワツプル」「ヨーグルト」なども見られ、男性向け雑誌ではあるが、飲食物に関する外来語は少なくはない。

B(3)は、生活に関わる具体物に関する外来語であるが、5～16年を見ると、9・11・13年は『中央公論』に多くの種類が見られるが、それ以外の8か年では『婦人公論』に多くの種類が見られる(10年は同数)。両雑誌に共通して見られる外来語も多く、「ベッド/ベット」「ソファ」のような家具、「ガラス/硝子」「ゴム/護謨」「コンクリート」のような素材、「カフェ」「ホテル」「ビルディング/ビルディング」のような建築物、「ラジオ/ラヂオ」のような新しい事物、「ペン」「ページ」のような身近なもの等が見られる。『婦人公論』のみ見られるのは、「タオル」「テーブル」「ドア」「ベル」「ホース」のような日常で使用するもの、「アパートメント」「デパートメントストア」など日常で関わる建物、「オールドミス」(5年)、「タイピスト」(14年)、「ウエートレス」(15年)など女性の職業や社会的立場を表す語である。「事務室{オッフキース}」(14年)・「オフキス」(16年)も『婦人公論』だけに見られた語で、女性が社会に出て「タイピスト」などの新しい職業で働く新しい職場を表すのにふさわしい語として用いられたのではないと思われる。また、「モダンガール」「モダンボーイ」「モダン・マダム」といった風俗・流行に関する語は『女性公論』にのみ見られた。『中央公論』だけに見られたものには、「アンテナ」「築堤{エンバンクメント}」「市應{タウン・ホール}」「軌鐵{レール}」「レンズ」のように、『婦人公論』に比べると、家庭生活よりは社会生活に関わる語がある。

B(4)「芸術(音楽・文学・美術等)・スポーツ」に関する語は、両雑誌に見られる。榎垣実(1963)に「演劇・映画・スポーツなどによって外来語が大衆化された(p/86)」とあるように、『中央公論』では大正1年に「イムペリアル、オペラ」「ピアノ」「テニス」「ヨット」などが見られるのに始まり、「合奏{オーケストラ}」「シムフォニー」「戯曲{ドラマ}」「旋律{メロデー}」「リズム」「畫布{キャンバス}」「フットボール」など、音楽、演劇、美術、スポーツに関する語が多く見られる。『婦人公論』においても、「ピ

アノ」「オケストラ」「ハーモニー／和聲 {ハアモニイ}」「シネマファン」「ステーヂ・ダンス」「コンサート」「バスケット、ボール」等、多くの種類が見られる。

B(5)は、専門性の低い抽象的な語であるが、両雑誌ともに多い。『婦人公論』においても、5年と11年以降は2桁の外来語が見られる。両雑誌の異なり語数の近い11年を稿末資料1・2で比べると、どちらにも見られるのが「インテリゲンチヤ」「センチメンタリズム／センチメンタリズム」の2語で、それ以外各雑誌で異なる語が用いられている。『中央公論』は「イエス」「ノー」「インテレスト」「データ」など現在はよく用いられるものもあるが、「必要な罪悪 {ネセシチーエヴル}」「パラドキシカル」「プロゼクション」など日常では使用されない語が多い。『婦人公論』においても、「型 {タイプ}」「ローマンチック」など日常的な抽象語がある一方、「ヴィジョン」「デジェネレート」など日常から離れた語があり、各雑誌が新しい概念語を積極的に取り入れている様子が窺える。だが、稿末資料2に見るように、時代が下るにつれ、『婦人公論』ではより日常的な抽象語が増えている。16年の両雑誌の異なり語を比較すると、どちらにも見られるのが「タイプ」「ユートピア」の2語であり、他の語は重複していない。『中央公論』では、「カテゴリー」「スローガン」「ポピュラリチー」「潜在的 (latent)」など、より専門的な語が多く、『婦人公論』では「グループ」「表徴 {シンボル}」「スイート」「タッチ」「ポイント」など、より日常的な語が多い。11年と16年を比較してわかるように、両雑誌で重複する語は非常に少なく、それぞれが話題に合わせた抽象語を用いている。記事の内容にも関わると思われるが、『中央公論』ではより難解な抽象語が、『婦人公論』ではより日常的な抽象語が見られる。

2. 3. 2 語の長さの比較

佐藤武義 (1999) 等、外来語の長さを拍数で計る先行研究があるが、ここでは「グレーテスト、ステーツメン」のように2単語以上からなる外来語について見ていく（「ミスグンスト Die Missgunst」のような定冠詞が付いている語は除く）。異なり語数における2単語以上の外来語の割合を次の表4に整理した。上段が語数、下段が割合（少数第2位を四捨五入）である。

表4. 2単語以上の異なり語数

(1)中央公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	7	10	20	25	4	10	12	23	21	16	12	22	35	3	12	10
%	10.1	11.0	11.3	18.7	7.8	16.4	27.9	21.9	26.6	55.2	9.9	12.0	14.5	5.2	16.9	11.6

(2)婦人公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	-	-	-	-	3	1	1	3	2	3	3	6	5	3	16	19
%	-	-	-	-	7.3	4.8	4.5	9.4	5.6	10.3	6.1	9.2	8.3	5.2	9.5	12.5

両雑誌を比べると『中央公論』の方が圧倒的に多いことがわかる。『中央公論』の場合、「パブリック、サーバント」(2年)、「利益分配法 {プロフィット、シェアリング}」(4年)、「ハウジング、エンド、タウンプランニング、アクト」(8年)、「デモクラテック・ガヴァーメント」(10年)、「饑餓労賃 = Hunger lohn =」(16年)のように多くが政治や経済に関する語であり、「存在事由 {レエゾン・デエトル}」(8年)、「叡知的性格 {インテリギブラー、カラクテール}」(10年)、「生活意思 (Wille zum Leben)」(12年)のような思想・哲学に関する語も見られる。稿末資料1の10・12年の欄に見るように、動物名、病名を表

す場合にも2単語以上の長い語となっている。『婦人公論』でも「親聯合國{プロ・アライ}」(10年)、「ツレード、ユニオン」(13年)など政治に関する語、「立派な罪悪 (splendid vices)」(9年)、「絶対的標準{アブソリュート・スタンダード}」(12年)など思想・宗教に関する語が見られるが、2桁の語数が見られる15・16年には「バキュームクリナー」「ハッピーエンド」「ハイ・ヒール」「ビヤホール」「バスケット、ボール」など身近なものが多くなり、「モダン・ガール」「モダン・ボーイ」「ラヂオフワン」など風俗に関する日本語の造語も見られ、『婦人公論』で新しい語を積極的に取り入れている様子が窺える。竹浪聰(1981)に大正期の特徴として「英語出自の政治・経済関係外来語には、二語あるいは三語が接続した長大なもの」があることが指摘されているが、英語出自だけでなくドイツ語出自の語にも見られること、政治経済以外の分野にも見られることが確認できた。

2. 3. 3 表記の特徴

表記に関しては、和語や漢語の併記について比較した。併記するということは、外来語の意味を示すことになり、見慣れない外来語を用いるときに有効であると思われる。「組合主義{サンヂカリズム}」のように振り仮名を振るもの、「生のカライフフホ、ス」「なまける権利 the right to be lazy」のように前後に和語や漢語を記す場合の異なり語数を調べたのが表5である。「miniture{ミニアチュール}」のように原語に読みを記したものや、「基督{キリスト}教」のように漢字表記の読みを記したものは含めない¹⁸が、「移入民問題{Immigration}」のように和語・漢語とアルファベット表記を併記したものが含まれた。下段には異なり語数全体に対する割合(小数第2位を四捨五入)を示した。

表5. 和語・漢語を併記する異なり語数

(1)中央公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	9	35	104	68	8	13	16	28	17	25	37	57	49	3	14	14
%	13.0	38.5	58.8	50.7	15.7	21.3	37.2	26.7	21.5	41.0	30.6	31.0	20.3	6.7	19.7	16.3

(2)婦人公論

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
異	-	-	-	-	23	9	4	6	21	1	15	21	14	10	25	16
%	-	-	-	-	56.1	42.9	18.2	18.8	58.3	2.0	30.6	32.3	23.3	17.2	14.9	10.5

多少のばらつきはあるが、大正後期に向かうにつれて割合が低くなり、対応する和語・漢語を記さなくても理解できる外来語が使われている、あるいは、理解できることを読者に求めている傾向がある。たとえば、『中央公論』で「奇論{パラドクス}」(1年)とあるのが、5年以降は「パラドックス」と用いられ、「實際的{プラクチカル}」(2年)が、13年には「プラクチカル」と用いられるなど、外来語が日本語の中に定着するのに伴い、併記が減っていく。それでも併記される語があり続けるのは、両雑誌で積極的に新しい外来語(新しい概念や事物)を取り入れているからであろう。

『婦人公論』のほうが併記する語が多いと予想したが、『中央公論』における割合も高く、「餓鬼道{アニマリズム}」(4年)、「装甲せる拳{メイルド・フィスト}」(6年)、「裏書{インドースメント}」(8年)、「獨裁政治{チノテーターシクプ}」(11年)、「植物群{フローラ}」(12年)など、様々な分野でより専門的な語に併記しているものが見られる。『婦人公論』では、「有機的嫉妬 Organic jealousy」(5年)、「厭世家{ペシミスト}」(8年)のような専門的な語だけではなく、「部屋{ルーム}」(8年)、「道德{モーラル}」

(12年)、「旋律 {リズム}」(14年)、「友情 {フレンドシップ}」(15年)、「靴下止 {ガーター}」(16年) など、英語の知識があればわかるような語の多くに併記が見られ、『中央公論』との違いが感じられる。

竹浪 (1981) では、大正期の「英語出自の政治・経済関係外来語」について、「高い英語の素養が必要な難解な単語とか、術学的ともいべきものがある」と指摘しているが、『中央公論』には英語に限らず原語表記の外来語が多く、「難解な単語」で「術学的」な傾向が見られる。以下の表 6 に、両雑誌において和語・漢語の併記も含めてアルファベット表記された原語の異なり語数を挙げる。

表 6. 『中央公論』『婦人公論』の原語表記の異なり語数

年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
中	0	17	22	11	1	19	18	16	8	19	8	65	33	0	12	11
婦	-	-	-	-	27	0	0	1	6	5	11	0	5	1	2	0

全体の異なり語数に差はあるのだが、『中央公論』のほうが圧倒的に原語表記が多い。『婦人公論』は原語表記をする執筆者が限られており、たとえば5年の27例はすべて同一の執筆者(男性)によるものである。9年の6例中5例が宗教(キリスト教)に関する専門用語であり、男性の同一筆者の記事である。11年の11例は4名の筆者、13年の5例は同一筆者である。一方、『中央公論』はほとんどが複数の記事(筆者)で、多くの筆者たちが原語表記を行っていたことがわかる。稿末資料1に見るように政治・経済に関する語が多いのだが、それ以外にも「cheat する」(2年)、「生の喜び la joie de vivre」(3年)、「ager privatus」(6年)、「Gerokomy」(10年)、「Selbst 自體」(10年)など、抽象的な語や外国の事物など様々な分野に及んでいる。12年に65例見られたのは動物名(恐竜名も含む)が多いためだが、これらをすべて原語で表記するところが「術学的」であり、詳細に記すマニアックな専門性が感じられる。なお、原語については、稿末資料1と稿末資料2でわかるように、両雑誌ともに英語が多いが、ドイツ語、フランス語、ロシア語、ラテン語など様々な原語が用いられている。

3 形容動詞・副詞・動詞の特徴

稿末資料1『中央公論』・稿末資料2『婦人公論』から、形容動詞・副詞・動詞を抜き出して整理したのが次頁の表7である(形容動詞・副詞、動詞の順に示した)。下線波線は女性筆者による記事に見られた語である。『中央公論』は男性筆者のみだが、『婦人公論』では特に後期に女性筆者が多く見られる。

一般的な外来語であったかどうかの目安として、勝屋英造『外来語辞典』(大正11年1922年増補版)¹⁹に収録されている語を調査した。辞典に掲載されていない語は網掛けにした。

『中央公論』は異なり語数で76語、延べ語数で123語、『婦人公論』は異なり語数で28語、延べ語数で47語である。先に見たように、ほとんどの年で『中央公論』の方が外来語数が多いことによる違いであろう。両雑誌ともに見られた語は次の5語である(活用語尾は省いた)。

センチメンタル デリケート/デリケエト ヒロイック
 ローマンチック/ロオマンチック/ロマンティック/ロマンテック/浪漫的
 リファイン/レファイン/refine

5語はすべて『外来語辞典』に掲載されており、専門的な語や特殊な語ではなかったと思われる。ま

表7. 形容動詞・副詞・動詞の外来語

(1)中央公論

年	形容動詞・副詞・動詞
1	トラジシヨナルの2／トラジシヨナルな1 歸納的{インダクチーブ}の 演繹的{デタクチーブ}の ゼルマンゼー する
2	行政的{エキスクユーチーブ} エクセントリックな センチメルタルな デヂケートする cheat する teach する
3	アカデミカルの 究極{アルテイメエト}の 美的{エツセテイク} エナーヂェチックに 古典{クラシツク}の ストーミー で 自發的{スポンテナス}に センチメンタルな3 チャーミングな 狂醉的{デイシランピック}の デカダンな デリケートな1／デリケートで2 ヒロイックな 傲慢{プライド}な 實際的{プラクチカル}なり 全的{ホーリー}に ローマンチックな・で8／ローマンチックな1／流曼的{ローマンチック}1／浪漫的{ロマンテイク}1 Pragmatic な Will する2
4	グレートで 質的{コーリタチブ}で 構成的{コンストラクチブ} 複律的{シンホニツク}で ホスピタル な 單律的{メロヂツク}で 浪漫的 純化{レフアイン}された has passed した would pass する
5	ローマンチック2
6	原始的{プリミチーヴ}2
7	ロオマンチックな elemental で refine する
8	アンチデモクラチックな オートクラチックな1／オートクラチックの1／オートクラチックで1 デモクラチックな3／デモクラチックの2／デモクラチックの2／デモクラチックで1／デモクラチック1 ノーマルな ホープフルな Flexible で 正當化{ジヤステフアイ}する スペキュレート する ペープ された
9	エポックメイキングの 本源的{オリジナル}な 古典的{クラシツク}の パラドキシカルな ビューロー クラチックな
10	—
11	アカデミックな エソテリック な クラシツクな デモクラチックに パラドキシカルに 系統發生的{phylogrnetic}
12	ストイックの unique の 浪漫的の プツシユする モノボライズする
13	亜米利加化{アメリカナイズ}する イージーゴーイング に インフォーマル システムチカア デモクラチキツクで ナイヴな フォーマル 2 プライド で プラクチカル な ラヂェカル で リフアインド な * ビッグ (大きく)／大きい{ビッグ} ボイコット する
14	ツランセンデンタルな
15	デリケートな ロマンテイックな
16	インマネント に サイクリカルな 流動的{flüssige} 潜在的{latent} 停止的{stockende} ジヤステイフアイ する ジャンプ する

*ヒステリーの(8)は名詞と見なし、ここでは扱わない。

た、5語以外は重複していないことから、ほとんどが雑誌特有の語と言える。先に見たように、普通名詞においても両雑誌で共通する語は少なく使用された外来語に違いがあったが、形容動詞・副詞・動詞についても雑誌による特徴が見られる。『中央公論』では、「デモクラチック」「オートクラチック」「ビューロークラチック」など政治関係、「美的{エツセテイク}」「質的{コーリタチブ}」「歸納的{インダクチーブ}」「パラドキシカル」「トラジシヨナル」など思想・哲学、学術に関する語が多い。『婦人公論』は「ミステイック」「エゴイストチック」「プーア」など事物や人物を描写する語が多い。中でも「ヒステリック」は『婦人公論』だけに見られた語で、主に女性に用いられる語として特徴的である。

表7. 形容詞・副詞・動詞の外来語

(2) 婦人公論

年	形 容 動 詞 ・ 副 詞 ・ 動 詞
5	—
6	<u>デリケートな</u>
7	チャーターする リファインされた
8	<u>デリケートな</u> <u>ヒステリックに</u> 2 <u>デベンドする</u>
9	センチメンタルな 3 ヒロイックな 記念碑的 モニュメンタル
10	—
11	ミステイックな ロマンチックに 1 / ロマンティックな 2 / ロマンテックな 2 エンライツンする デ ジェネレートする
12	—
13	<u>エゴイストチックな</u> <u>デリケートな</u> <u>ハムブルな</u> <u>ヒステリックに</u> Over Value する Under Value する
14	<u>クラツシする</u> <u>フレッシュな</u> <u>マスターする</u>
15	エキゾチックな センチメンタルならん <u>デスペレートな</u> <u>デリケートな</u> <u>フリボラスな</u> 浪漫的 ロマ ンチック な
16	<u>ヴヅッドに</u> <u>厳格 シリアス なる</u> 1 / <u>シリアスなる</u> 1 <u>スイートで</u> <u>デリケートな</u> 2 <u>ヒステリックな</u> 2 <u>プーアな</u> <u>アツピールする</u> 2 <u>ノックする</u>

* (1)(2)ともに抽出語と異なる辞典の表記を以下に挙げる。

インダクチャーヴ ヴィヴィッド / ビビッド エキゾティック エゴイスティック エナージェティック オリジナル コン
ストラクティヴ システムアティカル スウィート デベント トラディショナル ナイヴ / ナーフ パラドクシカル プ
リミチヴ プラグマチック フレッシュ ボーイコット ミスチック モニュメンタル ラザカル

『中央公論』では異なり語76語のうち39語が辞書に掲載されていない。39語のうち14語（語句）は原語表記である。原語表記も含め、不掲載語の中で「行政的 |エキスクユーチャーブ|」のように漢語とともに使われている語は13語あり、意味が理解できるよう配慮されている。また「アンチデモクラチック」は「アンチ」と「デモクラチック」が辞書に記載されており、意味が通じやすい。不掲載語39語の中で残りの25語（異なり語76語の約33%）は、手懸かりなく理解することを求められる外来語である。石井（2014）によると『中央公論』の主な読者は「知識人エリートである男性」であるが、25語のうちほとんどが英語で、当時の男性知識層の読者には理解できる範囲だったのであろう。

『婦人公論』では異なり語28語のうち17語が辞書に掲載されている。婦人向け雑誌であることを考えると、大半が辞書掲載語でもよいように思われるが、石井（2014）によると、読者層は「中流家庭の高学歴女性」であり、不掲載語が11語ある。11語のうち2語（語句）は原語のままであり、9語は英語由来である。6語が動詞、3語が形容動詞だが、外来語の動詞形は中央公論より比率が高く、『婦人公論』において積極的に形容動詞・副詞・動詞が用いられていたと考えられる。

4 まとめ

両雑誌の外来語を比較すると、記事の違いも関係しているが、共通して用いられる外来語は非常に少なく、雑誌によって外来語の語彙が異なっていることがわかる。本稿で見てきた外来語の特徴を雑誌ごとにまとめると以下ようになる。

まず、分野による特徴であるが、『中央公論』は政治、経済、国際社会、哲学・思想、宗教に関する語

が多い。軍事関係の語も見られるなど幅広い分野に及び、専門性の高い語が多い。特に、医学・生物学に関して、高度に専門的で難解な外来語を、多くは原語表記によって紹介している。生活に関わる語や抽象語は、『婦人公論』に比べると難解な語もあり、日常性が低い。一方、『婦人公論』は経済に関する語が非常に少なく、政治に関しては国内の社会問題に関わる語が多い。宗教関係の語はキリスト教のカトリックに偏るなど、使用されている外来語の範囲は広くない。ただし、思想を表す語や抽象語も見られ、新しい概念を積極的に取り入れる姿勢が窺える。生活に関わる家具や日用品、身近な素材や建築物などは『中央公論』より多く見られた。また、服飾関係の外来語、流行・風俗を表す外来語、女性運動や女性の職業、女性の社会的立場を表す語は『婦人公論』に多く見られた。両雑誌ともに、科学に関する外来語は少ないが、芸術（音楽・美術）・スポーツに関する外来語は多い。飲食物に関する外来語も両雑誌に見られる。

語の長さについては、『中央公論』に2単語以上の外来語が多い。英語やドイツ語を中心に、政治や経済をはじめとして幅広い分野に見られる。和語・漢語との併記については、両雑誌ともに見られ、大正後期に向かうにつれて減少の傾向にある。『中央公論』では難解な単語に多く見られたが、『婦人公論』では英語の簡単な単語にも併記が見られる。

形容動詞・副詞・動詞については、両雑誌ともに辞書に掲載されていない語も多く見られた。『婦人公論』においても、新しい外来語を積極的に用いている様子が窺える。

以上の特徴は、両雑誌の各年1月号の記事によるものであり、他の号の調査によっては多少変わる可能性がある。しかし、『中央公論』の外来語の分野が幅広く、より難解で専門性が高いこと、原語表記が多いこと、『婦人公論』に生活に密着した外来語が多く、女性に関する語を積極的に用いていること、より日常的な語であること、という特徴が大きく変わることはないだろう。

【注】

- 1 本稿で扱う外来語は、科学研究費助成事業・基盤研究(C)「大正期の外来語受容—100年前の“グローバリゼーション”という観点から—」(科研番号:25370512)で扱った外来語の範囲と同様である。また、調査対象を大正16年1月までとするのも、本研究の方針に従うものであり、昭和に改元したのが大正15年12月25日のため、大正16年1月1日発行と記されていることによる。
- 2 他に、米川明彦(1987・1996・2012)、石綿敏雄(2001)などがある。
- 3 他に表記に注目した石井久美子(2012)、固有名詞を扱った石井久美子(2015)等がある。
- 4 外来語が見られた記事に限定しており、和語のカタカナ表記が見られた記事は含んでいない。
- 5 女性の生き方を説くような記事や人生論は項目gに分類した。
- 6 a「政治・社会」とも関わるが、特に「婦人運動」に関するものを取り出した。
- 7 見聞録や体験を語るエッセイ風の記事などを分類した。
- 8 外来語が使用されている記事をすべて取り上げているため、普通名詞がない記事も含まれている。
- 9 石井久美子(2014)によると、大正5年から16年までの各年1月号の総ページ数は、『中央公論』が796ページ、『婦人公論』が763ページで、大きな違いはないという。ただし、年によって公論記事のページ数は異なっている。
- 10 榎垣実(1963)で、「デリケートな」「ドライブする」などの語を挙げ、「日本語の活用語尾をとるのだから形容詞・動詞の語幹となるにすぎず、ほとんど名詞化されているものと考えてよい」とあるのに倣い、普通名詞と同じ分類を施した。
- 11 普通名詞と固有名詞の区別が紛らわしいものもあるが、ここでは、固有の人物名、地名、建造物名、出版物名(例:倫敦タイムズ)、曲名、民族・人種名(例:羅甸、スラブ)、組織・団体名(礼:ボルシェビキ、ハンザ同盟)、言語名、愛称(例:酒のトカイ、三ツ矢サイダア)、地形名(例:バルチック海)、戦争(例:クリミア戦争)は扱わない。例えば、「希伯來思想」は取り上げるが、「希伯來民族」「希伯來人」は抽出しない。ただし、『中央公論』と『婦人公論』との比較のために、宗教名は取り上げた。その際、「○○教」「○○教徒」「○○教会」が混在する場合はいずれも「○○教」に統合して数えた。また、助数詞・単位(例:グラム、ヴォルト、マルク、パーセント、カロリー)は扱わないが、「カロリーの消費」のように独立して使われる場合は取り上げた。なお、成句や文、引用(例:弱き者よ、爾の名は女なり|フレールチー・イズ・ザイ・ネーム・ウーマン|、「プロジット、ノイ、ヤール」(ドイツ語で新年おめでとの意味)、Un pour tont, Let

- them go 放つて置き) や、ナンバリング等の記号 (例: a b c、x · y) 等は抽出しない。分類に関しては、橋本2010等ではすでに分類語彙表を基準に一定の分析結果を出しており、内容を反映する分類語彙表の小分類では細かすぎることから、本稿の資料において内容を大まかに分類できるような基準を設けたものである。
- 12 動物名、恐竜名、神話の生物名、ホルスタイン等の品種名も取り上げた。
- 13 8年は「サンヂカリスト」が見られる。
- 14 6年に「ブルジョア、ドラマ」が1例あるが、社会問題ではなくB(4)「芸術」に分類した。
- 15 拙稿(2010)の調査では、現代のファッション雑誌(男性向け・女性向け)において、男性向け雑誌では材質、機能性などを詳細に記す傾向にあった。専門的な内容を掘り下げるといふ特徴は、雑誌の種類と時代が異なっても共通する点である。
- 16 「ヒステリック」はB(5)に分類した。『女性公論』8・13・16年に見られるが、『中央公論』にはない。
- 17 米川(2012)によると、「大正時代に『文化』が流行語になって」おり、「文化」はドイツ語「クルツール」の訳語であるという。
- 18 「頁」は読みを当てたものではないため、「頁{ページ}」は含めた。
- 19 大正3年(1914年)の初版は収録語7000語、増補版は3500語を加えたところである。

【引用・参考文献】

- 青木美智子(1965) 「『婦人公論』『国文学解釈と鑑賞』30巻13号
- 石井久美子(2012) 「大正期の『婦人公論』における外来語表記の変遷」『人間文化創成科学論叢』(お茶の水女子大学大学院)15号
- 石井久美子(2014) 「大正期雑誌の書き手・読み手の位相差と外来語の使用実態」『表現研究』99号
- 石井久美子(2015) 「大正時代の外来語—固有名詞混種語を中心として—」『お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター研究年報』11号
- 石綿敏雄(2001) 『外来語の総合的研究』東京堂出版
- 楳垣 実(1963) 『日本外来語の研究』研究社
- 荻野綱男(1988) 「日本語における外来語の流入時期と言語」『計量国語学』16巻4号
- 勝屋英造(1922) 『外来語辞典』(増補版)二松堂書店(初版は1914年)
- 金 愛蘭(2006) 「外来語『トラブル』の基本語化—20世紀後半の新聞記事における—」『日本語の研究』2巻2号
- 金 愛蘭(2015) 「基本語彙構造における外来語の進出領域」『日本語語彙へのアプローチ—形態・頭語・計量・歴史・対照—』(斎藤倫明・石井正彦編)おうふう
- 久保田千砂子(1998) 「明治期における外来語の受容」『東アジア日本語教育・日本文化研究』創刊号
- 呉 季真(2007) 「明治期における日本語教科書の外来語—『東語会話大成』を中心に—」『文学研究科論集』(國學院大学大学院)34号
- 国立国語研究所(1987) 『雑誌用語の変遷』秀英出版
- 佐藤武義(1999) 「外来語受容融合の一面」『文学・語学』162号
- 竹浪 聰(1981) 「新聞に現れた特色—政治と経済の外来語—」『英米外来語の世界』(飛田良文編著)南雲堂
- 玉村禎郎(2012) 「外来語系形容動詞の動態—現代日本語の側面—」『近代語研究』16集
- 鄧 牧(2013) 「大正期における外来語の増加に関する計量的分析」『国立国語研究所論集』6号
- 中里理子(2010) 「若者ファッション雑誌に見る男女の文体差」『表現研究』92号
- 橋本和佳(2010) 『現代日本語における外来語の量的推移に関する研究』ひつじ書房
- 松井栄一(1991) 「新語辞典の性格(4)」『山梨大学教育学部研究報告』42 第一分冊(人文社会科学系)
- 松本直枝(2000) 「『和英語林集成』にみられる外来語」『洋学』(洋学史学会)9号
- 宮島達夫(1977) 「現代語いの形成」『ことばの研究』第3集(国立国語研究所)秀英出版
- 森田いづみ(1993) 「客体から主体へ—外来語への意味構造分析的アプローチ—」『国語学』175号
- 山本いづみ(1995) 「訳語受容の変遷—新聞に使用された外来語—」『名古屋工業大学紀要』47号
- 米川明彦(1987) 「近代の衣服の外来語」『梅花女子大学文学部紀要』22号
- 米川明彦(1996) 「外国文化の移入と外来語」『国文学: 解釈と教材の研究』41巻11号
- 米川明彦(2012) 「言葉の西洋化—近代化の中で—」『外来語研究の新展開』(陣内正孝・田中牧郎・相澤正夫編)おうふう

付記：本稿は科学研究費助成事業・基盤研究（C）「大正期の外来語受容—100年前の“グローバリゼーション”という観点から—」（科研番号：25370512）の研究成果の一部である。研究メンバーのご指摘・ご助言に感謝申し上げます。

【稿末資料1】 『中央公論』に見る普通名詞の外来語

*表中の記号については本文に示した。

年	分類	外 来 語
1	A	① コロニー 組合主義{サンヂカリズム} グレーテスト, ステーツメン ステーツメン
		② 職人組合{トレイド・ユニオン} бойкот4
		③ ー
		④ エツキス放射線 スピロヘーテ, バルリダ バチルス 實扶の里 窒扶斯2
		⑤ 祭祀{アポシオシス} バイブル 合理主義{ラシオナリズム} 歸納的{インダクティブ}の 數學 氣質{エスプリ・ゼオメトラリク} 演繹的{デタクティブ}の パン, ゼルマニズム
		⑥ ゼルマンゼーする ピストル
	B	(1) ジヤケット2 シルクハット3 ステツキ ズボン ダイヤモンド フランネル モード 天鷲絨 釦2
		(2) シガー シガレット3 シヤムベン4 ソースツツシ パイ パナ、
		(3) ガーデン2 カーブ2 ガラス カルタ2 ギムナシウム コック コツプ コレクション3 スカット3 スカットカルタ ゼエスト パリジアン パンフレット マッチ ミュジアム1/ミユヂアム1 俱樂部3
		(4) イムペリアル, オペラ テニス2 ピアノ2 ピンポン ポート ヨツチング2 ヨット3
		(5) アクト 概當{アプロクシメーション} アムビツション2 オリジナリテイ コルヂアル, アンタント トラヂシヨナルの・な3 奇論{パラドクス} バロメーター ヒーロー ポイント2
		(6) クリスマス
2	A	① サンヂカリズム 官僚政治{ビュロクラシイ} 自治區{ミル} 支配{アドミニストレーション} 行政的{エキスクユーチーブ} パブリック, サーヴァント 政治{ポリツクス}
		② ストライキ
		③ ー
		④ ピオリン
		⑤ エピキュリアン/エピクユリアン キロマンシー コーラン ストイツク教信者 ヒンヅー教 實際的{プラクチカル} ホロロジー マホメット教 寫實{リアリズム}/リアリズム2 ミスチシズム 革命家{レボリユーシヨニスト} a God / God Paganism Pantheism 基督教 基督信者 希臘正教 波斯教 耶蘇教8 猶太教
		⑥ 斷頭臺{ギロチン} ドレッドノート 施條銃{ライフル} 銃短{ピストル}
	B	(1) きやらこ 襯衣{しやつ} 手巾{ハンカチ}
		(2) ジヤム 火酒{ヲツカ} 珈琲 煙草3
		(3) カフエー カルタ 下向道{ダウンパツス} ページ3 メダル 瓦斯2 骨牌2 燐寸
		(4) 合奏{オーケストラ} 樂鍵{キー}3 棒{キュー} 合唱{コア} ピアノ4 韻律{リズム}
		(5) 少年期{アドーレッセンス} 深淵{アビス} インスピレーション 衝動{インベタス} エクセントリックな エピソード 危機{クライシス} 到着點{ゴール} 救濟{サルベーション} 嘉悦{ジヨーイ} 誠實{シンセリチー}2 鞏固{ストレンゲス} センチメタルな 一個の人間{ソール} 仕事{タスク} 死の苦{デツス, バング} デヂケートする 生の苦{パース, バング} パツシヨン 農民{ムジツク} 變形{メタモーホシス} 道德{モラル} Comme il fant cheat する cheater Desert of Adolescence Elan Vita Even-wond ring fool Junkerdom teach する teacher Lehrjahre Repentant Nobleman Storm and Stress Vengeance Wander-jahre
		(6) 浮浪人{ジブシイ} ツィガンカ
3	A	① コミュニナル コミュン26 サンヂカリズム クーデター3 移入民問題 (Immigration)
		② ー
		③ マントル
		④ 人羊神{サチル} スフィンクス セントール パン2 ギフテリヤ ポプラ マロツク皮 人種改良{ニウビユクス}

		<p>⑤ 無道德論 {ア、ラリテー} 偶像破壊者 {アイコノクラスト} アカデミー畫派 無神論者 {アセイツ} 無道德主義 {アモーラル} 利他主義 {アルトルイズム} 非道德主義 {アンチモーラル} 反 {アンテイ} 基督教 自我主義 {イゴイズム} 個人主義 {インデイ} ■ デユアリズム} インテルナショナルリスト 4 新實在論 {エウ、リアリズム} 自我狂 {エゴメニア} 美的 {エツセテイク} オリピックの神々 古典主義 {クラシ、ズム} 2 高郎 {コーラン} 経 新浪漫主義 {コオロマンテイシズム} ゴシック 宗教的禁欲主義 {シリジヤス、アクセテイシズム} 象徴主義 {シムボリズム} 聖者 {セイント} デカダンなデカダン 6 羅旬頹廢期 {デカダンス} ■ ラテイヌ} 邪説 {ドグマ} 本然主義 {ナチュリズム} 新古典主義 {ニオクラシ、ズム} 新異教主義 {ニオ、ペイガニズム} 新希臘主義 {ニオヘレニズム} 希伯來主義 {ヒプリーズム} 2 人間主義 {ヒユマニズム} ヒエウマニスト / ヒユマニスト 2 人間本位 {ヒユウマン} 清教徒 {ピユーリタン} / ピユーリタン フェーマニチー 行為主義 {プラグマチズム} / 實用主義 {プラグマテイズム} 異教 {ペイガン} 2 異教思潮 {ペイガニズム} 4 希臘主義 {ヘレニズム} 4 希臘現世主義 {ヘレニ} ■ ズム} 實證論者 {ポジチピズト} 遁生主義 {モナステイシズム} ユートピック 宗教改革 {リフォメイション} 生命派 {レコオル, ドウラ, キ`イ} 活動説 {アクチイキ`ズム} 生の躍動エラン・井`タル 力の慾望キルレ・ツウル・マハト 生のカライフフホ、ス 人體美の極致 beau ideal 明晰 Clearness 神本位 divine 自我中心の思想 egocentricism 人間本位 human 新異教主義 Neo-Pagnism 生の喜び la joie de vivre Pragmatic な 地の子 terrae filius 靈の覺醒 reveil de l`ame 肉體の崇拜 the worships of the body Anthropomorphism la grande sensnalite 加特力教 希伯來思想 4 希臘宗教 基督教 47 獨逸新教 耶蘇教 3 浪漫派 4</p>
		<p>⑥ 國民防禦軍 {ナシヨナル, ガルド}</p>
B	(1)	—
	(2)	ワッフル 煙草 馬鈴薯 2
	(3)	救濟所 {アンビュランス} 舞宴 {オレジー} カフェー 2 ジョーナリスト スタンプ 2 ポツケツト, モネイ ホテル・ド・ヴィール 3 教師 [マスター] ミツシヨウ, スクール 軌鐵 {レール} 瓦斯 2 玻璃
	(4)	フランド美術 オリムピア競技 シムフォニイ 頌醉戲曲家 {ヂシランピック, ドラマチス} 戯曲 {ドラマ} ハーモニー ピアノ 2 プログラム 旋律 {メロデー} リズム
	(5)	アカデミカルの 青春 {アドーレツセンス} 2 警 ■ {アフオリズム} 究極 {アルテイメト} の 矛盾 {アンチモニー} 拱手無爲 {イナクシヨウ} 幻覺 {イリウジヨウ} イルミネーション 神興 {インスピレーション} エナーヂェチックに エネルギー 解放期 {エマンシペーション} 至上命令 {カテゴリーカル, インバラチブ} 法則 {カノン} キャンペイン, オヴ, エヂユケーション (Campaign of Education) / キャンペイン, オヴ, エヂユケーション 2 古典 {クラシツク} 2 一致照應 {コンスボンダンス} 轉化 {コンバージョン} 同時 {サイマルタネアスリー} 或物 {サムシング} 罪 {シンフル} シンボル ストーミーで スパン スペル 自發的 {スポンテニアス} に センチメンタルな 3 感觸 {タツチ} チャーミングな デレタント 謙讓 {ツユーミリナリ} 狂醉的 {デイシランピック} の デイグニフアイト, パート 2 デリケートな ・で 2 眞 {トルス} 2 空虚 {ナツシング} 發生期 {ナツセント, スタート} ノック 偉人 {ハイアー, マン} 2 バニチー ヒロイツクな プライド 傲慢 {ブラウド} な ブランド 俗衆 {フイリステン} 左様なら {フエアーアウエル} 試験 {プロベイション} プロポオシヨウ 蒸氣 {ペーボア} 肯定 {ベヤアヘン} 全的 {ホーリー} に 中庸 {ミイン} minituse {ミニアチュール} 凡衆 {モツプ} 讚美 {ラウス} 實 {リアリテイ} 2 リテラリー ローマンズ ローマンチックな ・で 8 / ローマンチックな / 流曼的 {ローマンチック} / 浪漫的 {ロマンテイク} / 浪漫的 Light 自己 (Selbst) 經驗者 (Versucher) 嚴正 Severity Sweetness Will する 2
	(6)	旗印 {■ンナー}
4	A	<p>① サンチカリズム 民本主義 {デモクラシー} 1 / デモクラシー 5 / デモクラシイ 1 君父臣子政治 {パターナル, ガヴァーメント} 戦争權 {ライト, ツー, メーキ, ウオア} レヂヲナリズムス地方主義 帝國 {ライヒス} 2 Nation in organization 組織に於ける國民</p> <p>② 分別關稅デスクリネチーフ ツラスト 4 ストライキ 利益分配法 {プロフィット, シエアリング}</p> <p>③ ウラニウム 6 エーテル 3 エナマチオン 5 / エナマチン 1 電子 {エレクトロン} 陰極線 {カソード, レー} 微粒子 {コルパスクル} トリウム 2 雲霧 {ネプユラ} ヘリウム 4 ヘルツ波 質量 {マツス} 放射可能體 {ラジオ, アクチビチー} ラヂウム 1 / ラジウム 9 X線 8 α (アルファ) 線 4 β (ベータ) 線 3 γ {ガンマ} 線 3</p>
	(4)	—

		⑤ 大僧正 {アーチビショップ} アダムイズム 餓鬼道 {アニマリズム} 悟性 {インテリセンス} 活假説 {ウオーキングハイポセンス} オメイズム カルテシアン ギリシア正教 悪魔道 {サタニズム} 見神學 {セオソファイア} セルヴィア正教 9 / セルヴィヤ正教 2 / セルヴァ正教 ゼレタント 2 ディレットタンティズム デカダン 2 大僧正 {パトミアル} 決算表 {バランス, シート} 近代主義者 {モダーニスト} apriori 浪漫主義 回々教 10 希臘正教 2 希臘教 2 基督教 塞耳比亞正教 2 土耳其正教 耶蘇教 3 耶蘇正教 羅馬舊教 3
		⑥ 陸軍大臣 {クリーグス・ミニスター} 2 ピストル
	B	(1) ー
		(2) シヤンパン
		(3) カフエー グラス面 コップ 8 情男情婦 {スウィートハート} スリーピング, カー バルコニー ベッド ヤンキー 2
		(4) オルガン 畫布 {カンバス} シンホニイ 1 / シンフォニイ 1 ピアノ 單律的 {メロヂック} で リズム 2
		(5) 大観 {アウトルック} インスピレーション 獨立意見 {インデペンデント, ヲピニオン} ウント 生存物 {エキジステンツ} 1 / 生存 {エキジステンツ} 1 我 {エゴ} 本質 {エッセンス} 2 エネルギー 9 情緒的の接吻 {エモーションナル, キッツ} 秩序 {オーダー} 自動作用 {オートマチズム} キョエニグ リツヒ 階級 {クラス} クリスタルビジョン グレート・コムモナー グレートで グレート, メン 共同 {ゲマインザム} 2 質的 {コーリタチフ} で 構成的 {コンストラクチフ} コンポヂション 同士 {コンレード} 禮儀上の接吻 {コンゲエシヨナル, キッツ} 潜在 {サブシスト} 潜在意識 {サブリミナル} 形の本義 {シグニフィカンス, オブ, フォーム} 複律的 {シンホニック} で スパン 自發性 {スポンタナイチー} ゼメンシヨン 2 ゼレンマ 2 / ゼレムマ 3 人類の太洋 {テ、シヤン, オヴ, マンカインド} 透感 {テレパシイ} ニュー, スタート新たなる出立 必然性 {ネセシチー} 逆題 {パラドックス} 本在 {ビーイング} 2 實際心 {プラクチカル, マインド} プラン 豫知 {プレコグニジョン} 過程 {プロセス} / プロセス 2 名題 {プロボジション} ホスピタルな 普遍 {ユニバーサルズ} 生命 {ライフ} 極限 {リミット} 純化 {レフアイン} された レマーケブル, メン ロックアウト 蔭打 {ラヴァーシヤドウ} 不同力 Diveroifying force 過度の自信 Happy self-confidance 木性 Treeness 統一力 Unifying forces and if not or has passed した would pass する 浪漫的
		(6) ー
5	A	① 副王 {ヴイセロイ} サンジカリズム 3 デモクラシー 8 パアリアメント 議會法バアリアメント・アクト レフェンダム 6 / レフェンダム 2
		② ストライキ 賃金アルメイツ・ローン
		③ ラヂウム
		④ マラリア ミイラ
		⑤ クラテオ クリステヤン ソフィスト 4 デモース バイブル 2 / 聖書 {バイブル} ピューリタン (清教徒) 2 清浄教義 {ピューリタニズム} プリグリム・ファーザーズ ヘレニズム ミスチシズム モルモニスト 基督教
		⑥ ー
	B	(1) ー
		(2) パン 3
		(3) コールター塗り
		(4) リズム
		(5) イニアチーフ チヤムピオン ローマンチック 2 我が同役よマイン, コレー pugnacity (敵抗心, 奮闘心)
		(6) ー
6	A	① 情感政治 {ゲフユールスポリチーク} クーデター 5 サンジカリズム デモクラシー 2 非常鎮厭令 {ライオットアクト} 現實政治 {レア、ルポリチーク} / 現實政治 {レートルポリチーク}
		② aes uxorium
		③ ー
		④ カナリヤ 名古屋コーチン シュロブシヤ種 鬼神 {ダイモン} 3 バーシヤ種 ハクニー種 ホルスタイン モルモット 優生學 {ユージェニツクス} ヨークシヤ種 レグホン

		⑤ 人造の世間的通説 アーヒトラリーオーソリチー アイコノクラスト キリスト教6 クリスト教 ト・アパイロン 力の関係 マハトフエアヘルト子ス マホメット教2 装甲せる拳 メイルド・フィスト ユーゲノツド ユダヤ教6 aj アジ ajras アヂラス ager privatus アーゲル プリバトス ager publicus アーゲル プブリクス Literature
		⑥ ギヨチン acker ager ajras akrs Amerika uber Alles ansteckung Autumunus Herlst Hima Sama Kulturvölker Naturvölker
	B	(1) —
		(2) カレー粉 2
		(3) セメント ナイフ ペン 倶楽部 2
		(4) ピアノ フットボール 2
		(5) インテリゼンス オーソリチー カテゴリー 原始的 プリミチーフ 2 プレミヤム ムード 4 Li リー ロジック
		(6) Pur
7	A	① インダストリアリズム サンチカリズム シヴィル, リバーテー ステート デマゴーク デモクラシー5 ポリチカル リバーテー 人間全體の選舉權 human suffrage 國際調和 International Comeliation 社會的再建 social reconstruction 社會結合 Solidarity / 社會的結合性 solidarity 威嚇政策 terrorizing polioy
		② ストライキ 國民經濟學 National Economy 一般經濟學 Political Economy
		③ —
		④ モルヒネ 阿片
		⑤ イズム 2 オツボルチユニスト カソリック ヒユマニズム プロテスタント マキアエ'リズ 人類の結合 human solidarity / human solidarity 新學 New Learning 心靈の生存 Spiritual being 基督教
		⑥ —
	B	(1) メリヤス 2
		(2) ビール 煙草
		(3) ゴム プラスチック 2
		(4) —
		(5) 必要なる禍悪 ネセツサリー・エヴキル パラドックス ロオマンチックな あたりまいのこと a truism 創造的自由 initiative 發動者 initiator 自然状態 (Status naturalis) 夢想 vision elemental で refine する
		(6) —
8	A	① アンチデモクラチックな オートクラシー5 オートクラチックな・の・で3 キヤピタリスチック・デモクラシー コンモン, ロー2 サンヂカリスト ソーシャル, デモクラシー7 戦敗承認論者 デフイーチスツ 民本化 デモクライズ 民本化 デモクラチゼーション デモクラシー 61 / 民主主義 デモクラシイ デモクラシゼーション デモクラチックな・の・φ9 海洋獨占主義 ネバリズム 2 ハウジング, エンド, タウンプランニング, アクト ビルディング, アクト プロバガンダ 21 プロレタリア 3 ボルシエヴィズム マキアヴェリズム 2 軍國主義 ミリタリズム 商工主義 commercialism pseudo-democracy 仮面民主主義 capitalistic political democracy demos 2 Natural Law propaganda bureau social democracy
		② 娯樂税 アミユズメント, タクス ギルド ストライキ 4 ダンピング 8 ベターメント, タクス
		③ —
		④ ヒステリーの
		⑤ 一様平等 イーブンエタナール 裏書 インドースメント 價值轉換 ウムヴェアツング エピキユリアン エチモロジー オツポチュニスト キリスト教 2 / 基督教 2 改宗 コンバージョン 3 獨逸 クルツール 文化 コスモポリタニズム 2 ジョーヂズム / デジョーヂズム スラヴィズム チュートニズム デカダント デズエツドー デモス 傳統主義 トラデシヨニズム ドロア・ジウィル パブテスマ プラグマテスム 存在事由 レエゾン・デエトル ロイド・ジョーヂズム 3 反対毒 antidote balance of Power 「なまける権利」 the right to be lazy Hord Kultur 2
		⑥ タリオ 軍事 ミリタリー Russische Horden (ロシアの群兵) Deutschland Uber alles
	B	(1) —

		(2) シガル
		(3) アンテナ 2 ゲーム シヴイツク, センター スチーム ペン 2 瓦斯
		(4) スポーツ
		(5) アクト エンペロール オバー, シュー ギヤツプ 2 世界性 {コスモポリタニゼーション} 正當化 {ジャスチファイ} する 日本化 {ジャパナイズ} スタチュート スペキュレートする ゼネレーション ソーシャル テマ 無勝負引分 {ノービクトリーピイス} ノーマルな パリメント バツトル 2 人道 {ヒユマニテイ} ブラツクメール フリードム フロツクコート ペープされた ホープフルな ミュニシパルバンク メーン・カーレント 2 モチーヴ 貴族 {ユンカー} / ユンケル リフレン リベルチ / 自由 {リベルチ} ワー 2 語 {ワーツ} fairness Flexible
		(6) リンチ
9	A	① アメリカ・サンヂカリズム 3 アメリカ・デモクラシー 3 インターナシヨナリズム オートクラシー 5 ギルド・ソーシアリズム クラフト・ユニオニズム 3 コミュニオン サンヂカリズム 23 労働組合 {サンヂカ, ウープリエ} ショップ・スチュワード運動 貧民部落社會事業 {セツルメントウオーク} ソーシヤリズム 2 ソーシヤル・デモクラシー 8 直接民主主義 {ダイレクト, デモクラシー} / ダイレクト・デモクラシー デモクラシー 114 / デモラシー テーロル・システム 5 ナシヨナリズム 5 パロツト・ボックス・デモクラシー ビューロークラチックな フランス・サンヂカリズム 2 ブルジョア 106 ブルジョア・デモクラシー 5 ブールジョアジエ 2 ボルシエヴキキ・デモクラシー リコール 代議政治 {レプレゼンタチヴ・デモクラシー} 勞兵主義 Sovietism
		② カルテル ギルド 15 ストライキ ドツク・ストライキ 2 トラスト ナシヨナル・ギルツ Insolvenza
		③ ー
		④ Influenza
		⑤ オツポーチュニスト コスモポリタニズム 4 プラグマチズム 4 プラグマチスト 2 基督教 2
		⑥ 共疲れの戦争 {ウオア・オブ・エキゾースション} 矢毒 eurare Money (軍資金) Munition (軍需品)
	B	(1) ー
		(2) 煙草
		(3) カロリメーター シヤベル 5 ドクトル パトロン 2 把手 {ハンドル} ポンプ ライン リーフレット 瓦斯 硝子 倶楽部 燐寸
		(4) ー
		(5) 創意 (イニシアチヴ) インスピレーション エネルギエ 5 エポツクメーキングの エム 5 生的跳躍 {エラン、ヴィタル} オーヴァー, タイム 4 本源的 {オリジナル} な キャスチング・ヴォート 古典的 {クラシツク} の 社會的臺所 {コミュニテイキツチエン} タンク 分化 {ディフエレンシエーション} パーセンテーヂ パラドキシカルな パラドツクス 擬制 {フキクシオン} ホームシツク 2 Men (人) Positive Check Sept 浪漫主義
		(6) ー
10	A	① ゲロコマイ Gerokomy サンヂカリスト 6 サンヂカリズム ショップ・スチュワード・ムーブメント ソヴイエツト・システム 2 デモクラシイ 1 / デモクラシー 2 デモクラツト 2 デモクラテック・ガヴァーメント ブルジョア 8 プロレタリアン 中小農會議 Bauernrat
		② ギルド 4 ギルドマスター
		③ ー
		④ 無勢力 {インポテンツ} エキス 8 オーフォリン サラデラ スベルミン 内分泌物ホルモン / ホルモン 勢力 {ポテンツ} モルモット ルツエルン Capaum 去勢鶏 生殖不可能 Impotentia generandi 辜丸隠匿症 Kryptorchides 鼠蹊部辜丸隠匿症 Kryptorchides inguinales 腹部辜丸隠匿症 Kryptorchides abdomiuau マクロビオチック Macrobioitique 性交可能 Potentia coeundi
		⑤ 叡知的性格 {インテリギブラー, カラクター} スコプチェン 過度の労働と不十分なる栄養 Uberarbeit u. Unterernahrung 基督教 3 猶太教
		⑥ 人工的乾燥エンシレーヂ ジャーネーマン 蛮族 (バルバル) フニストメーター ミイツカゼルネ 歸還兵宅地 Krieger houstatte 獨身者住宅 Ledigen heim 指導農場 Lehrwirtschalten Reserve army
	B	(1) ー

		(2) パン ヨーグルト
		(3) アカデミー 賞與 {ボーナス}
		(4) ヨツト
		(5) 自我 {イツヒ} 勢力 {エナジー} エネルギー 精神 {ガイスト} 歸結 {コンセクエンス} マヂヨリテイ 自由職業者 {リベラル, プロフェツション} Individuum 個體 2 Selbst 自體 to be 4 to have 3 to do
		(6) ツアー
11	A	① インターナシヨナリズム インダストリアリズム クーデタア サンヂカリズム 2 ソリダリテイ 5 個立主義 {セバラチズム} 4 獨裁政治 {チノテーターシクプ} チヤーチスト 2 ツルイズム デモクラシー 6 / デモクラシイ 6 デモクラチックに ナシヨナリズム 目的合同 {パーパス・ユニオン} 自由組合 {フライエ・ゲウエルクシヤフテン} プルジヨアジー プロレタリア 6 ボルシェヴィスト メンシエヴィスト
		② ギルド 2 ストライキ 2
		③ ー
		④ アテレス 2 オラングダン (老牡) / オラングタン 2 / オラングタンク 5 ギボン ゴリラ 2 シポマタドル シンパンジー 4 / シンパンゼー 2 セプス 2 セルコピテクス 半神半人 {デミゴッド} パンサー 3 パピアン マカック
		⑤ イズム 5 キリスト教 2 / 基督教 7 文化 {クルツール} ゴティク ショウキニズム トルストイズム プルアツフェ ルネツサンス 3 / 再生 {ルネツサンス} carita (隣人の愛) I'amordella spera suprema (至高の世界に對する愛) 潜在的天才 —potential genius— 一妻多夫 (Polyandry) 2 jus primae no ■ tis
		⑥ ー
	B	(1) カール シルクハット ソフト フロツク
		(2) パン 2 トースト 茶菓 {レプレシユメント} 麵麩
		(3) カテドラル コース 3 スチームローラー テント ページ ペン ホーム 4 マツチ レンズ 4 實驗品 {ラボラトリー}
		(4) 管絃樂 {オーケストラ} / オーケストラ オペラ 15 喜歌劇 {オベレット} ゴルフ 2 シムフォニー ステージ タンゴ バンドマン ピヤノ 4 プログラム マーチ マチネー ミクロフォン ロシヤオペラ 2
		(5) アカデミックな 自由人 {アン・ノンム・リープル} イエス イニシアチーブ インテリゲンチヤ インテレスト エキステンドする 2 エソテリックな クラシツクな 伶俐 {クルークハイト} サークル サムシング 演習 {セミナリー} センティメンタリズム 2 データ 自然 {ナツール} ナツシング 必要な罪惡 {ネセシチーエヴル} ノー パラドキシカルに ファウスト 拳骨の權利 {ファウストレヒト} ブラボオ 友誼 {フラテルニテ} 豫斷 {プレジユヂス} プロゼクション 人間 {マン} 環境 {ミリュ} 團集 {メン} 自己 {モア} 4 題目 {モットオ} 人類 {ユマン} 民族 {ラーズ} 2 戀愛 {ラ ■ メーカーキング} 造り替 {レクリエーション} 求婚 { ■ ー イング} 戀物語 { ■ ー ■ ンス} 既成の事實 {フェー・ ■} 群婚 (Group Marriage) mood of energy mood of idleness 2 recreation
		(6) キュルト・ド・モア リツツル, ジャツプ
12	A	① アリстокラシー インダストリアリズム 2 エンコミエンダス制度 クーデター サンヂカリズム 6 デモクラシイ プルジヨア 2 集産主義 {フレクチビズム} プロレタリア 1 / プロレタリア 3 プロレタリアツト 1 / プロレタリアート 2 ボルセビズム 4
		② ギルド 32 コンメンダ 2 トラスト 6 ハンサ同盟 マヌフワクチュア 公正賃銀條項 Fair Wages Clause
		③ バニボラ線 プラズマ

		④ 羚羊{アンテロープ} アムモナイト(菊石) アメーバ2/アミーバ2 イクチオサウリア(魚龍) イクチオサウルス ウインタテレス(Uintatheres) エーテル エオヒップス(Eohikppus)1/エオヒップス9 カンガルー クローヴァ クロ、ファイル 葉緑体{クロ、プラスト}1/クロ、プラスト4 コレラ シアン酸アムモニウム スミロドン(Smilodon) タスマニヤ狼(Thylacinus) ダスマニヤン・デヴィル(Sarophilus) ダリヤ デノテレス(Dinotheres) デノリウム ツェツエ蠅(Glossina)/ツェツエ蠅(Tsetse"- Glossina morsitans) ティタノテレス(Titanotheres) デイノサウリア(恐竜) トリパノゾーマ3/トリパノゾーマ(Trypanosoma brucei) トリヒナ虫 ネビリウム(巨人) バクテリア3 ピッパリオン(hipparion) ヒポヒップス(Hypohippus)/ヒポヒップス プテロダタテルス(翼指類) 動物群{フ、ーナ} プラズモチウム プランクトン7 プリオヒップス(Pliohippus) プレシオサウリア(長首龍) プレシオサウルス 植物群{フローラ} プロカメルス(Procamelus) プロテイン2 プロトヒップス(Protohippus) プロトプラズム 原形質{プロムプリズム} マケロゾス マストードン マングース10 マンモス3 モササウリア(滄龍)2 モニトル モネラ ラマ ワクチン 異菌類(Anomodontia) ブラキオサウルス(Brachiosaurus) 馬(Equus) Ichthyosauria(魚龍類) Mosasauria(滄龍類) 溝鼠(Mus decumanus) 家鼠(Mus rattus) 突然変異("Mutation") 南洋犬(Oanis dino) 漸新世(Oligocene) 系統発生的(phylognetic) Plesiosauria(長首龍類) 虚足("Pseudo podia") 牛疫(Rinderpest) 龍足動物(Sauropoda) 爬虫類(Theriomorpha) Cynognathus, Dicynodon, Equus 2 Endothiodon Farahippus Hipparion Hypohippus maladie de coit mal de caderas Meryhippus Nagana 2 Neohipparion Pliohippus Protohippus Ptychognathus Surra 2 Trypanpsma equiperdum T. equinum
		⑤ エクレクティシズム2 カタクリズム キリスト教9/クリスト教/基督教7 ゴシック20 サイヤンス2 ヒユウマニスト ヒユウマニズム2 マーカンテイリズム7 モハメット教徒 ユーゲンドスタイル ユーゲント式 ラヂカリズム ルネサンス14 レパルティーミエントス制度2 ローマン主義 能力欲(le désir du pouvoir) 転変異説("Cathaclysmic theory") 天律不変説("Uniformitarianism") 生活意思(Wille zum Leben) 権力意志(Wille zurmacht) Nationalization Public Utilities Socialization 回々教7
		⑥ サーベル
B	(1)	サンダール
	(2)	バタ2 パン
	(3)	ヴェヒクル3 ガソリン カテドラル システム2 ジヤングル ショウ・ウキンドー ドーム5 ホテル 瓦斯9/ス瓦
	(4)	アート シングル・プレー フェアープレー3
	(5)	アダプタビリテー アダプテーション 無感覚{インデイフキレンス} ヴイジヨン エネルギー7 クラシック8 譲與{コンセツション}3 取り合はせ{コムビネーション} シノニム シムボル ジヤステイス スタンダアド ストイックの スペキユレーション スライヂキング, スケール センセーション3 タイプ タッチ チーム・ウオーク2 テクニック デテール/細部{デイテール} パーソニファイケーション パラドツクス バランス4 ヒント ブラック プラス10 プツシュ/プツシュする マイナス8 モーティーフ/モーチーフ2 モノボライズする リイダア cul de sac(『行き詰り』) 歴差(Procession of Equinoxes) 変移性(Variability)2 合目的性(Zweckmäßigkeit) Awakening Data unique の Zwckmassig 浪漫的の
	(6)	—
13	A	① アナーキズム アンチ・プロレタリア2 インタナショナル/インターナショナル4 投票集合{コーカス}/コーカス 國務大臣{セクレタリ・オブ・ステート} デモクラアト デモクラシー/デモクラシイ16 デモクラチキツクで 保守民主説{トリデモクラット} プテイ・ブルジョアブル18 ブルジョア30/ブルヂョア16 プロ62 プロレタリア8/プロレタリア19 プロレタリア・ポリチシアン 袖選舉區{ポツケツト, ポツロー} ボルシユヴキズム/ボルシエヴキズム2/ボルシエヴキズム/ボルシユニキズム メーデー2
	②	トラスト бойкотする Eigenwerte Wirkungswerte 2
	③	—
	④	ヒポコンデリー ホッテントット・ブッシメン

		⑤	不可思議論 アグノストツタ 者 アパラアト 不可思議派 アグノスチック 亜米利加主義 アメリカニズム 2 チヤアナリズム ソーシャル・スタチックス (社会平権論) デアレクチック デタミニズム 合理派 ナシヨナリスト バイブル パチエラア・オブ・デイヴキニテイ ヒンドウ教徒 2 ピユリタン派 プラクチカルな プレラファエル (ラファエル以前に復古する一派) プロボア (ボア人鼻眞) 實證派 ポジツピ■ト メタモールフォーシス 同教徒 モハメダン モルホロギイ 合理派 ラシヨナリスト 2 ラデキカルで ラムパント リベラリズム 4 リアリスト リアリズム ルネツサンス 2 the philosophiy / philosophies Philosophie des Werden / Philosophie des Werdens
		⑥	オルダー・オブ・メリット (功績勲章) 2 フオイイレトン 2 フオイイレトニスト 2
B		(1)	エメラルド コスチユウム 2/コスチウム ダイヤモンド ビロオド ボタン 2 ボタン・ホール
		(2)	コーヒー チョコレート パン ビール フォーク 珈琲 煙草 3
		(3)	アーケード 7/アーケードー 1 アーチ 3 仕事場 アトリエ アメリカン・バー 築堤 エンバンクメント カフェ コロネード 3 コンクリート 5 カンパニーレ ゲム コップ 市内 シテ シビック・センター 4 ストープ ストア ソファ 市應 タウン・ホール 観光客 ツーリスト テスト テツキストブック ナイフ 5 ニウス/新聞種 ニユース /ニユース 3 ノート パトロン 2 パラック 6 胸壁 バラベツト バラボラ 2 ファサード ピアツツア 3/ピヤツツア 2 宣伝ビラ 丸ビル 2 ビルディング/ビルデング 5 フィルム プールヴァール プロカー 2 ベッフロイ ペンポール 3 ホテル ポンプ 市場 マーケット ミリオネア メンバア モザイク ライブラリー 無線電話 ラヂオ ランプ 回想録 レコレクション レスタウラント 2 鐘塔 (Befroi) 瓦斯 8 倶楽部 玻璃
		(4)	オペラハウス オペラバツグ キネマ・ファン 演奏場 コンサートホール ジヤズ・バンド ダンゴ・ダンス デツサン 2 テニス 奏大樂堂 バンドズタンド ページェント
		(5)	亜米利加化 アメリカニゼーション 2 亜米利加化 アメリカナイズ する 歐羅巴風 ア・ラ・ユーロツペアン イージーゴーイングに インフォーマル ウエルデン 2 ウンレーゲルメーチヒ 能率 エフィシエンシイ エントランジェ 自傳 アウトビオグラフィ 公式傳記 オフィシャルバイオグラフィ オルガニズム カテゴリイ 2 カマラード カリカツール キヤピタル 質 クオーリテイ 量 クオンチテイ クラオン グリーン グループ ケーオス コスモポリス コンミツション コンヴエンション 勤務 サービス シーズン 同義語 シニーム システムチカア 旦那 シニオール 4 シムボル スカイライン 3 スタイル 3 ゼネレーション 2 センテンス 對角線 ダイアゴナル タクチイク 4 タヴァリシュチ チツプ チャーター デレンマ デイアレイクチク デテール テムベラメント 2 ナイイヴな 讒言 たはごと (ノンセンス) パスベクチイブ パノラマ 片 ピース ビジネス/ビズネス 2 ビツグ (大きく) /大きい ビツグ 大きいこと第一 ビツグ・ファースト ヒューマン・ドキュメント (人間の記録) フォーマル 2 フォックス・トロット フォラム/フォーラム プラウドで プラトニックラヴ プラン 4 プロセス 2/方程 プロセス 1 プロポーション フンガア ミニユアチユア 獨逸製 メード・イン・ジヤーマニー メキヤニズム 3 メリット モダン, コンビニエンス モットー 2 ユトピア リイベ リファインドな レーゲルメーチヒ レヴエル 3 ロイアルチ 法則 ロー 傳奇 ローマンス Aberglauben Affe Bürger entgeisteter Geist Fauilletonist Geist geistige Kultur 2 Glaulen Glied der Natur Gli d der Gcschichte heilige Fanile Hunger 3 Hunger und Liebe Irrekigion Kinder gottlicher Natur Liebe 2 Mechanisierung Menschen im Herzen Prediger ges todes Religion Schreidemit Blut Stadtbürger The city crown Überbau 2 Ziggurat Wiederaufbau Winkeladvokat
		(6)	エキセデレ ゲヴオルデネ フェロウ チエツカ
14	A	①	クウデタア ポルシュキ*ズム 姉妹國民の聯合 リーグ・オブ・シスターネーション 中立聯合 リー■オブニユートラシス
		②	ストライク
		③	ー
		④	コカイン ベスト マラリヤ マンジオカ 3 モルヒネ 阿片 21
		⑤	アイドラツリ アイドリズム エナージズム センチメンタリズム ツランセンデンタルな デカダンス プラグマチスト 赤紐主義 レットテイブ
		⑥	アツロフィ
	B	(1)	ネクタイ
		(2)	カカオ/カ、オ パン 4 マテ茶 珈琲 4 煙草 2 馬鈴薯

		(3) ガス プラカード ペン ボーナス 瓦斯 護謨
		(4) ー
		(5) エッフイシェンシ サプリミチ スコープ デメンション デモンストレーション バロメーター ホープ モメンタム ルウズ レジメンテーション
		(6) ハイパーツロフィ ムラトー
15	A	① 衡平法 {イクイチャー} インタナショナル エミгранト コンミュン ソシアル・デモクラシー チャーチスト ツァーリズム デモクラシイ9/デモクラシー4 テロリズム ドツク罷業 ブルジヨワ6/ブルジョア ブルジヨワジイ6/ブルジョアジエ26 ブルジョア・イデオロギー ブルジヨワ・デモクラシイ/ブルジヨワデモクラシイ プロレタリアート8 プロレタリアエ2/プロレタリア15 プロレトクリト3 普通法 {コンモンロー} ポリティカル・デモクラシー3 マルクシスト7 マルクシズム17 産業的労働組合 (Industriald Union) 労働組合 (Trade Union) 労働組合主義 (Frade Unionism) 革命持続 (Revolution in Permanenz)
		② カーテル コール トラスト ネット (新経済政策) 3/ネット1 ボーイコット3 リング
		③ ー
		④ コレラ ホルモン11
		⑤ イマジニズム イマジニスト2 エゴイズム キリスト教 クーズニツア2/クーズニツア クルーチェヌイフ (未来派) /クルーチェヌイフ シムヲリズム/シンヲリズム フェビヤニズム ヘロイズム ユニバシティー・セトルメント リベラリズム ロマンティシズム 門戸閉鎖主義 (closed shop) / closed shop 信仰 (Credo) Injunction 2 open shop 2
		⑥ ー
	B	(1) ー
		(2) ビール
		(3) トラクタア パスポート バラツク パラボラ 堡壘 (バリカアド)
		(4) ダンス テンポ1/テムボ2
		(5) イデオロギヤ3/イデオロギー2 インテリゲンツィヤ11 哀歌 {エレ■ア} カタストロオフ2/カタストロオフエ4 コスモス センセイション デリケートな ミクロコスモス ユートピア ロマンティックな 検討 (Examino) 職人 (journeymen) Conspiracy 2 Phrase
		(6) ー
16	A	① アンシャン・レジーム インターナショナル3 コンミュン サンディカリズム ステーツマン シツプ セツツルメント デモクラシー3 ドミニオン4 ファ9 ファシズム/ファシチズム ファシスト2/ファスチスト ファツシヨ6/ファシヨ ブルジョア32/ブルジョア ブルジョアジエ2 プロレタリアート5 プロレタリア2/プロレタリア2 ホーム・クロフティング ホーム・クロフト計畫 (The Home croft plan) ホームクロフト・セツツルメント マルクシズム メンシェキズム レニニズム17
		② カルテル3 ギルド3 ストライキ2 トラスト2 小協商 {フチー, アンタント} ロイヤリテイ (採鑛料) /ロイヤリテイ2 経済的合理主義 (Der ökonomische Rationalismus) 營利主義 (Erwerbsprinzip) 饑餓労賃 = Hunger lohn = 短時日労働者 = Kurzarbeiter, La bourers working on short time = 時節的變動 = seasonal Fluctuation = 失業には一定の限界 (Margin of Unemployment)
		③ ー
		④ アスピリン ベスト3 阿片
		⑤ クリフト教會 コラン マホメット教 リーグ ブルーテリズム 加特力教6 羅馬教2 浪漫主義
		⑥ ー
	B	(1) ジンジャービーヤ パン ビール 煙草
		(2) カセドラル トニック トンネル ビラ2 ホテル ポンプ マツチ マネージャー モツプランブ 頁
		(3) ー

	(4)	イデオロギー2 インマネントに カテゴリー2 カモフラージ コンセツション サイクリカルな ジヤステイファイする ジャンプする ショック スローガン タイプ2 テーマ デイレナマ トニックで ナイト パーセンテージ バックワード フロント ポピュラリティー 最大限度 {マキシマム} ユートピア ユートピアン 流動的 (flüssige) 潜在的 (latent) 黒點 Sun-Spot 停止的 (stockende)
	(5)	ピラミッド
	(6)	ジンジャービーヤ パン ビール 煙草

【稿末資料2】 『婦人公論』に見る普通名詞の外来語

年	分類	外 来 語	
5	A	① ー	
		② ー	
		③ ー	
		④ 中酒性精神病 {アルコールリズムス} 内分泌物 {ホルモン} 中酒性妄覺 {ちうしゆせいまうかく} Alkoholwahnsinn. 嫉妬妄覺 {しつとまうかく} Eifersuchtwahn. 所有本能 {しよいうほんのう} Instinct of Acquisition 有機的嫉妬 {いうきてきしつと} Organic jealousy 偏執狂 {へんしつきやう} Pananoia シールツフト Die Scheelsucht.	
		⑤ 基督 {キリスト} 教 現在的 {げんざいてき} Present. 豫期的 (未來) {よきてきみらい} Prospective. 回顧的 (過去) {くわいこてきくわこ} Retrospective.	
		⑥ ー	
	B	(1) コート 更紗 {さらさ} ショール セル マント	
		(2) アルコホル / 酒精 {アルコール} チョコレートクリーム	
		(3) オールドミス3 ガラス	
		(4) ー	
		(5) エンヴィー 悲哀 {グリーフ} 所有 {しよいう} Acquisitive. 怒 {いかり} Anger. コヴェタスネス Covetousness エイフェルズフト Die Eifersucht. ミスグンスト Die Missgunst ナイド Der Neid. 「エムヴィー」 Envy. 恐 {おそれ} Fear. 「ジェラシー」 Jealousy. jalousie {ジャルシー} Jealosiia. {ジエロシヤ} 愛 {あい} Love. Man (男) Man (人間) 2 嗜 {たしな} み (Modesly) 競争 {きやうさう} Rivalry. シヤーデンフロイデ Schadenfrende Woman (女)	
		(6) ー	
	6	A	① ー
			② ー
③ コークス19 ニツケル4			
④ ヒステリイ			
⑤ 基督 {キリスト} 教6 基教 {キリけう} 2			
⑥ ー			
B		(1) ー	
		(2) アルコール カステラ2	
		(3) 瓦斯 {がす} 52 / 瓦斯5 ガソリン カタログ カレッツジ ストーヴ89 チーヴ / チユープ10	
		(4) 歌劇 {オペラ} ブールジョア, ドラマ	
		(5) 智慧 {ウイストム} 能率 {エンイシエンシー} デリケエトな 動機 {モチブ}	
		(6) スケレトン (骸骨の意) リンチ (私刑) / 私刑 {リンチ} 2	
7	A	① ー	
		② ー	
		③ ー	
		④ ー	
		⑤ ヘル	

		⑥	—
	B	(1)	コート2 セル パラソル ブリリアンチン マント2 メルトン 羅紗 らしや リボン ワッ チュエ
		(2)	パン
		(3)	ゴム タイプライタア 長卓子 デスク 頁 ページ 2 教壇 プラット・ホーム
		(4)	オルガン3 ピアノー2/ピアノ12
		(5)	チャーターする リフアインされる ワニテイー
		(6)	—
8	A	①	デモクラシー ミリタリズム
		②	—
		③	—
		④	エーテル ココロホーム スコポラミン モルヒネ2
		⑤	加特教 カトリック 基督 キリスト 教 厭世家 ペシミスト 厭人者 ミスアンソロピスト
		⑥	—
	B	(1)	シヨール シルクハット
		(2)	パン2
		(3)	ギヤス ステーション2 スリーピング、カー タイプライター 頁 ページ ベット ベンチ2 ホテル2 部屋 ルーム courting parlors
		(4)	オルガン ハーモニー ピアノ2
		(5)	スピリット デペンドする デリケートな ドグマ的 ヒステリックに2
		(6)	トワイライトスリーブ
9	A	①	—
		②	—
		③	—
		④	スフィンクス (獅身女面の怪物)
		⑤	晩課 ヴェスパー エピキュリアン カトリック教徒 切支丹 きりしたん 2 キリスト教3/基 督 キリスト 教5 基督者 クリスチヤン サクラメント5 スコオラ3 聖 セント 4 デカダ ン/廢顔 デカダン マニ教 監督 ビショップ 1/監督 ビジョツプ 2 赦罪 しやざい (abso lutio 又 satisfactio) 告白 こくはく (confessio) 痛悔 つうくわい (contitio) 赦免 しやめん (indulgence) 懺摩 ゑんま (Ksama) 『立派な罪惡』 (splendid vices)
		⑥	—
	B	(1)	—
		(2)	—
		(3)	ソファ 卓子 テーブル 頁 ページ モデル
		(4)	オケストラ 歌劇 オペラ 2 和聲 ハアモニイ バルカロオラ (舟子の歌)
		(5)	効果 エフエクト 轉機 クリシス ショツク センチメンタルな3 ヒロイックな 精想 モン チメント 記念碑的 モニユメンタル ローロマンス
		(6)	人間の書類 ヒューマン・ドキュメント
10	A	①	サフラヂェット/サフラゼット7 サンヂカリズム4 デマゴグ2 ドミニオン・ホーム・ルー ル ブルヂョア 親聯合國 プロ・アライ プロパガンダ7 ボルシェヴィズム
		②	ギルド2
		③	—
		④	—
		⑤	キリスト教徒 キヤソリック2 クリフト教2 デカダン7 Weltschmerz エルツシユメルツ world-sorrow ウオールドソロー 2
		⑥	ドレツドノート サーベル2 ピストル
	B	(1)	メリヤス
		(2)	パン
		(3)	ゴム テーブル4

		(4) —		
		(5) アイロニー エージェント トスカ 18/ toska トスカ プロテストする 3 fin de siècle フアンドシエクル 2 heart-ache ハートエーク		
		(6) ポヘミヤン		
11	A	① ブルジョア 6		
		② ストライキ		
		③ —		
		④ ヒステリー ヘモグロビン ミズンネフロス		
		⑤ エゴイズム/エゴイズム 2 基督 キリスト 教 女性主義 フェミニズム 新マルサス主義 レセエ・フエア ワイプリツヒ・クルツール / 『女性文化』 ワイプリツヒクルツウル ((Weibliche Kultur) 第三性 (Das dritte Geschlecht) faith (信仰) / fe		
		⑥ —		
	B	(1) —		
		(2) パン 2		
		(3) シーツ 頁 ページ 2		
		(4) —		
		(5) インテリゲンチヤ 2 叡智 ウイズダム / ウイズダム ヴィジョン 5 選人 エリテ 11 エンライツンする センチメンタリズム 2 型 タイプ 2 テーマ デコレーション デジェネレートする 特殊化 デイファレンシエーション 3 半分 ハーフ ハンディキャップ ヒーロイン 新鮮 フレッシユ ベターハーフ 「男性」 マン / man ミステイックな 「人間」 メンシユ モザイック ロマンチックに / ロマンティックな 2 / ロマンテックな 2 ロマンチック・ラブ ロマンティシズム 女 (femina) 3 の K (Kirche, Küche, Kinder) less (より少ない) Minus 独立の女性道 ("selbständiges Weibtum") woman		
		(6) オーシーズ クリスマス		
		12	A	① コンムユニスト デモクラシー 3 デモクラチック / デモクラテック ブルジョア 2 プロレタリア 2 聚落 コロニー 2
				② 協同組合 パートナーシップ
③ 質量 マツス				
④ アミーバ 2 エーブマン (猿人) / エーブマン 3 ヒステリー プロリオピスカス マンモス (巨象) ヴイタミン				
⑤ 絶対的標準 アブソリュート・スタンダード 能率的標準 エフィシエント・スタンダード クルツール論 聖痕 スチグマ 「可き」 ゾルレン 2 / 「べき」 ゾルレン チュベリズム バイブル 2 相対的標準 リラチーブ・スタンダード ルネサンス 3				
⑥ —				
B	(1) シルクハット ハイカラ髷 ピン			
	(2) バタ パン 8			
	(3) アパートメント 2 コンクリート 外殻 シエル 2 スチーム スペート テーブル 亜鉛 トタン 2 ビジネス・ビルデング ホットウォーター ホットエーヤ ポスター			
	(4) 社交ダンス ピアノ リズム 15 レコード			
		(5) 捨象 アブストラクト インフリュエンス 生存 エキジステンス 能率 エフィシエンシイ 熱意 エンシユージアスム 風習 ジツテ 規模 スケール センス センチメンタリズム タイプ プラス 2 フレンドシップ プログラム マラソン競争 2 中間 メデアム メルヘン 道德 モーラル ユートピア 2 ユーモア 造り換え リクリエーション 役目 ロール		
		(6) エスペラント教育		
13	A	① 社会連帯主義 ソリダリテイ ツレード, ユニオン ブルジョア 5 ブルジョアジー ブルジョアリスト プロレタリア / プロレタリア ウーマンカレント Societas 3		
		② —		
		③ —		
		④ パチルス Devil Beast		

		⑤ 基督{キリスト}教4 商業主義{コムマシアリズム} ジャーナリズム デカダン2 バルガリズム
		⑥ ー
	B	(1) シヨオル ボタン3 マント
		(2) 煙草{たばこ} パン7
		(3) 瓦斯{がす}2 骨牌{かるた} 贈り物{ギフト} 球蓋{ドーム} トタン ビルディング ベッド ペンキ ポンプ ランプ2 隧道{とんねる} バラック9 バザー2
		(4) エンタシス(脹らみ)
		(5) インデイレント エゴイスチックな 名誉{オノア}2 好奇心{キユリオシテイ} サブウル バン ショック デゼネレート デリカシイ デリケートな ハムブルな ヒステリックに 純 な恋愛{ピユア・ラブ} 純潔{ピユリター}2 處女性{プアージニター} プロ級 散歩路{フ ロムナード} モットー／標語{モットウ} ユトピア ライフ・ウオーク5 レメディー ロマ ンス Over Value する Under Value する
		(6) ドン・ファン2 ボヘミアン
14	A	① デモ新思想家3 デモクラシー ブルジョア1／ブルジョア3／ブルジョワ1 プロレタリア ート プロレタリア
		② ー
		③ タングステン モリブデン
		④ ー
		⑤ 利他主義{アルツリズム} エゴー4 デカダン
		⑥ ー
	B	(1) フロックコート ポケット モーニング ルバシカ3 ローブ・ド・シヤンプル
		(2) アルコール 煙草{たばこ}
		(3) アパートメント／アツパートメント 事務室{オツフキース} 船室{キヤビン}／キヤビン ゴム コンクリート2 タイピスト2 ドア バラック17 バンガロー 頁{ページ}2 ホール ホテル 6 ヤンキー ランプ
		(4) アンプロンプツ オーケストラ シンフォニー ソプラノ ダンス3 テムポオ ハーモニカ マンドリン 旋律{リズム}／リズム レコード 倶楽部
		(5) 溝渠{ギヤツプ} クラツシする クリーニング2 コントラスト2 コントロール センチメンタ リスト プライド フレツシな 潜勢的存在{ポテンシヤリテイ} マスターする メス 動因 {モーティヴ} 年報{ヤールブヒ} 静坐の時間 (Quiet hour)
		(6) ヘシ・ベツクド 木乃伊{ミイラ}
15	A	① アナアキズム ブルジョア4／ブルジョワ
		② ー
		③ ー
		④ ヴィタミン ヒステリー8 ホルマリン消毒
		⑤ 自己主義{エゴイズム} イスイト教會 ヴァンダリズム エロトマニア 樂天主義{オプチミズ ム} カソリック教派 吉利支丹{きりしたん} サンタ・フェエ (聖き信仰の意) ジャーナリ ズム ダダイスト ダダイズム デイブソマニア ニヒリズム 伴天連{ペトレ} モハメツト教 耶蘇{やそ}教
		⑥ 鉄砲 espingardas
	B	(1) オールバック2 オパール カナキン ギガン嶋 クロース コート サラサ サラタ嶋 サン トメ嶋 ジヤガタラ嶋 シヤツ3 スカート／スカート スタイル ステツキ ダイヤモンド タキシイド チヤウ嶋 パッチ ブラシ2 白金{プラチナ} フロック バンガラ嶋 ポケット マニラシヨオル モーニング2 ルビー
		(2) アスパラガス アルコホル3 キヤラメル 珈琲{コーヒー}／コーヒー2 シエリ シガレット バナナ パン3 ライスカレー

		(3) ウエートレス エブロン2 エレベーター カアペット ガイド5 ガイドブック カフェ/カフェー 4 カンテラ キヤデラック クツシヨウ3 ゴム2 コンクリート スタンド2 ストープ タオル テーブル バー バスケット バキュームクリナー パラソル2 パラック3 ハンドル バンガロー チラシ(ピラ)/ピラ10 ビル3 プールポアル 頁{ページ} ベット 鈴{ベル} ペン ボーイ ホーム ホーム ボール ポスター2 ホテル2 假面{マスク}/マスク マドマゼル ムシウ モー ター モダンガール モダンボーイ ラヂオ3 ランプ3 硝子
		(4) シネマファン シンフォニー ステージ・ダンス スポーツ ダンス ダンシング・ホール ダ ンス・ホール2 ハーモニカ2 ファン プログラム プロット
		(5) アドヴァイス = {イコール} ヴィクター エキゾチックな 等々 {エトセトラ} エネルギー 挿話 {エピソード} オアシス カロリー (熱量) グリーン クラシック ゴシップ シヤン ジヤック スター スタート ストーム 「異人種」 {ストレンジャー} / 放浪人 {ストレン ジャー} センチメンタリズム センチメンタル 型 {タイプ} / タイプ 十年間 {デケード} 絶望 {デスペラシイ} デスペレートな デリケートな トレース ノスタルヂヤ11 ハイカラ 背景 {バック} ハッピーエンド ヒント プラス フリボラスな ポーズ3 マイナス マスタービ ルダール マスト ムーヴメント 近代的便利 {モダアン・コンギニエンス} 3 ユートピア3 相 手 {ライバル} ライン 願望 {ルツキングバックウアード} レデーメード3 浪漫的 {ロマンチツ ク} な 友情 {フレンドシップ}
		(6) タイフォン ジブシイ2 ツウファオ ヨソク (東方の邦又日の國) Yego (端・或は發點一日 は東の一)
16	A	① ブルの/ブル根性 ブルヂョア/ブルジョア5 ブルヂョア・デモクラシイ2 プチ・ブルヂョア 2 プロレタリア4/プロレタリア ボルセヴィズム
		② ー
		③ ー
		④ ヒステリー5 怪物 {モンスター}
		⑤ 基督 {キリスト} 教 マキヤヴェリズム コンマーシヤリズム ジャーナリズム ニヒリスト
		⑥ ー
	B	(1) ヴェール 靴下止 {ガーター}/ガーター2 ケープ コート4 襦袢 {じゆばん} ストッキング2 ずぼん ネル ハイ・ヒール 補片 {パッチ} 2 ハンカチ フェルトターバン フラシテン 淺 黒 {ブルーネット} ポケット ボンネ マント ユニホーム ルビー5 レエス 最新流行 {レー テストファッション}
		(2) アイスクリーム カロリー キヤラメル タバコ パン3 ビール フォーク
		(3) アスファルト エレベーター2 オフキス ガール3 ガイド カットグラス ガラス/硝子 {が らす} 3 歌々留多 {かるた} コック コンクリート2 ゴンドラ シート ショウウキンドウ2 / ショウウインダウ2 / ショーウインドー ストープ2 / ストオヴ3 タクシー7 / タクシイ 園タク/タク ダンスホール2 デパーアトメント デバアトメントストア 卓 {テーブル} ド ア3 トランク トランプ トンネル パイロット ハウスワイフ パラック2 ビヤホール2 ピラ2 ビル2 ビルディング ピンセット プラットホーム/プラットフォーム 頁 {ページ} / 頁 {ページ} 2 / ページ ベッド ペン4 ベンチ ホテル3 麻雀 {マージャン} マイクロホン マ ダム4 マッチ3 モダンガール32/モダン・ガール12/モダンガアル6/モダンガール5 /モダン・ガアル11/現在の娘 {モダン・ガール} モダンボーイ モダンマダム 戀人 {ラヴ ア} ラヂオ3 ラヂオフワン ランプ3 瓦斯
		(4) カンヴァス グラヴ コンサート スキー スケッチ スケート ダニウーブワルツ ばす, け つと, ぼをる/バスケット, ボール/バスケットボール2 ハバネラ ピアノ/ピアノ ファン プレーボール プログラム2 拳闘 {ボクシング}
		(5) アツピールする2 老 {アルト} インプレツシヨウ ヴヴツドに カーレント カムフラージュ 接吻 {キス} / キス ギヤツプ2 苦力 {クーリー} クライマックス グループ3 コース2 コン トラスト シーズン ジャパテス・スタイル 嚴格 {シリアス} なる/シリアスなる 表徴 {シンボ ル} スイートで スケール2 スタート2 タイプ4 タッチ ツアイス デザイン デリカシ イ デリケートな2 ノックする ハイカラ ヒステリツクな2 桃色 {ピンク} プーアな フ モール プロ ポイント マーク ムーヴメント モダン3/モダン4 ユートピア ユーモ ア ユニオキユラ5 若 {ユング} ルール レクチュア ロマンテイスト
		(6) アグレ, ダツクリング クリスマス ジョファア/シヨファア